283
46

高知高等学校一覧（第九年度）

自昭和六年至昭和七年

高知高等學校一覽

（第九年度）

自昭和六年
至昭和七年

283-46

高知高等學校一覽

第九年度　自昭和六年四月　至昭和七年三月

發行所寄贈本

目次

第一　沿革略……一
第二　學年曆……八
第三　學則……九
　第一章　總則……九
　第二章　學科課程及教授時數……九
　第三章　學年學期式日及休業日……一〇
　第四章　入學在學轉學休學退學及除名……一一
　第五章　懲戒……一四
　第六章　課程ノ修了及卒業……一五
　第七章　服制……一五
　第八章　寄宿及通學……一六
　第九章　考查料入學料授業料寄宿料……一六
第四　教育綱領……一九

第五　細則……一九
一　學則施行細則……一九
第一章　隨意科目及撰擇科目……一九
第二章　入學在學轉學休學退學及除名……一九
第三章　編制……二〇
第四章　試驗修了及卒業……二〇
第五章　授業料及寄宿料……二五
第六章　服制……二六
第八章　寄宿料……三三
第八章　通學……三四
二　生徒心得……三七
三　校務分掌規程……四一
四　評議員規程……四二
五　文書處理規程……四四
六　校族取扱方……五三
七　物品會計規程細則……五三
八　職員服務規程……五六
九　圖書規程……五六
一〇　事務當直心得……五六
第六　職員……六三
第七　前職員……六八
第八　生徒……七二
一　生徒氏名……七四
二　生徒本籍府縣別表……八四
三　生徒學歷別表……八四
第九　卒業生……八九
一　卒業生……八九
二　卒業生科別表……九三
第十　關係法規……一〇八
一　高等學校令（抄）……一〇九
二　高等學校規程（抄）……一〇九

一三四
一三五
一三五
一三七

三　文部省省轄諸學校官制（抄）……一五二
四　文部省直轄諸學校職員定員令（抄）……一五四
五　文部省直轄諸學校長職務規程……一五五
六　帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル件……一五六
七　高等學校高等科入學資格試驗規程……一五六
八　文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ヲ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件……一五七
九　文部省直轄諸學校外國人特別入學規程……一五八
一〇　高等學校高等科學力檢定規程……一五九
一一　學生生徒兒童身體檢查規程（抄）……一六一
一二　學生生徒兒童身體檢查規程上ノ發育概評決定標準（抄）……一六五
一三　行幸啓ノ節學生生徒敬禮方……一六六

附錄

一　對抗競技ニ關スル申合事項……一六七
二　學校運動選手及運動競技會ニ關スル協定事項（大正十五年四月十五日參加決定）……一六九
三　高知高等學校學友會會規……一七三
四　高知高等學校同窓會會則……一八一

高知高等學校一覽

第一　沿革略

大正十一年　八月二十四日　勅令第三百九十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正セラレ本校ヲ設置セラル

仝月　仝日　勅令第三百九十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ定メラル（校長一人教授九人書記四人）

仝　二十五日　文部省告示第五二二號ヲ以テ事務所ヲ當分ノ內文部省ニ置ク

九　月　六日　文部事務官江部淳夫學校長ニ任セラル

大正十二年　一　月十六日　文部省告示第三號ヲ以テ高知市內高知縣立高知城東中學校內ニ本校事務所ヲ置ク

三月三十一日　本校學則ヲ制定ス

四月九日　勅令第一六一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「九人」ヲ「十六人」ニ改メラル

仝　十二日　高知市江ノ口本校新築校舎ニ於テ事務取扱ヲ開始ス（文部省告示第三二〇號）

仝　十六日　本校第一回生徒入學宣誓式ヲ擧行ス

仝　十七日　本校授業ヲ開始ス

六月十二日　梨本宮殿下本校ニ御成アリ授業ヲ台覽アラセラレ尚月桂樹ヲ御手植遊サル

十二月四日　學校長江部淳夫卒去

仝　日　教授鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ命セラル

十二月二十二日　生徒控所新築竣工

大正十三年

一月二十二日　御眞影拜戴

二月五日　第六高等學校教授正五位勳四等内藤馬藏學校長ニ任セラル

仝　日　鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ免セラル

三月二十二日　教育勅語謄本拜受

四月十一日　第二回入學宣誓式ヲ擧行ス

仝　十九日　寄宿寮新築竣工

仝　二十日　特別教室新築竣工

仝　二十八日　勅令第九十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「十六人」ヲ「二十四人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改メラレ新ニ助教授「二人」ヲ加ヘラル

五月五日　寄宿寮開寮シ生徒ヲ收容ス

十二月二十五日　學則施行細則中第四章試驗終了卒業ニ關スル規程及校務分掌規程ヲ改正ス

大正十四年

二月十日　講堂書庫柔劍道場雨天體操場竣工

三月三十一日　學則中轉科轉類ニ關スル規程寄宿寮入寮規程授業料改正竝授業料寄宿料徵收規程改正

四月一日　勅令第八十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本

全　十　一日　圖書館開館
全　　日　第三回入學宣誓式ヲ擧行ス
全　二十五日　勅令第百四十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中「教授二十四人」ヲ「三十人」ニ「助教授一人」ヲ「四人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改メラル
七月　六日　學則施行細則第二十三條理科評點科目表一部改正
十一月　三日　開校式擧行、此ノ日ヲ以テ本校創立記念日トス
十二月十二日　御眞影奉安庫、濕室竣工
全　十　六日　學則施行細則校務分掌規程第二章中ニ評議員規程ヲ追加
大正十五年
三月十二日　第一回卒業証書授與式擧行
四月十七日　第四回入學宣誓式擧行
全　三十　日　學則施行細則第三章編制規程中學級總代ノ會議ニ關スル規程ヲ追加シ第二十四條理科評點科目表一部改正

十一月三日　校旗制定式擧行
全　五日　學則施行細則第二章中第八條第四號ヲ改メ第四章中第二十五條第四號ヲ第五號ニ繰リ下ケ新ニ第四號追加
昭和二年
三月十四日　第二回卒業証書授與式擧行
四月十三日　學校長内藤馬藏依願免本官
全　　日　文部省督學官從四位勳四等西川順之學校長ニ任セラル
全　十八日　第五回入學宣誓式擧行
十二月二十七日　勅令第三六六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中助手一名ヲ加ヘラル
昭和三年
三月　一日　學則施行細則第一章第三條、第九條及第三十一條ヲ改正
全　十五日　第三回卒業証書授與式擧行
四月十二日　學則第六條及第十條改正
全　　日　學則施行細則第一章第八條中第二號及生徒心得第三章第十一條

ヲ改正第十二條及第十三條ヲ削除シ第十四條ヲ第十二條ニ改メ以下各條ヲ順次繰上ク

仝　十四日　第六回入學宣誓式擧行

六月二十五日　學則施行細則第二章第三章第四章及第六章中改正

七月二十五日　ヨリ八月四日迄文部省主催ノ中等學校教員等ノ數學科講習會ヲ本校ニ開催ス

十月　九日　天皇皇后兩陛下ノ御寫眞ヲ下賜セラル

仝　二十九日　文部省直轄諸學校官制中改正公布アリ勅令第二百五十六號ヲ以テ「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「書記」ノ次ニ「生徒主事補」ヲ加ヘラル尚職員定員令中改正公布アリ勅令第二百五十七號ヲ以テ生徒主事及生徒主事補各一人ヲ加ヘラル

十一月十日　卽位禮奉祝式擧行

十一月十七日　御大禮奉祝ノタメ生徒一同記念植樹ヲ爲ス

昭和四年

三月二十五日　第四回卒業証書授與式擧行

四月　五日　學則第三十六條及第四十二條ヲ改正

仝　十一日　第七回入學宣誓式擧行

仝　二十四日　學則第七條、第九條、第三十四條、第四十三條改正

九月三十日　校旗取扱方第四條改正

昭和五年

二月十七日　學則第三十七條ノ次ニ新ニ第三十八條乃至第四十條ヲ追加シ第三十八條以下ヲ順次繰下ク第四十五條ヲ改正

三月十五日　第五回卒業証書授與式擧行

四月十一日　第八回入學宣誓式擧行

仝　十八日　細則、生徒心得中第三章「缺課遲刻」トアルヲ「願屆」ニ改メ第十一條ヲ改正、新ニ第十二條ヲ追加シ第十三條ニ改メ以下條項ヲ順次繰下ク且ツ校務分掌規程第二條ヲ改正、第七條ノ次ニ第八條以下第九、第十ノ二條ヲ追加ス

昭和六年

二月五日　天皇皇后兩陛下ノ御寫眞ヲ奉還シ新ニ下賜セラル
三月十五日　第六回卒業証書授與式擧行
四月十一日　第九回入學宣誓式擧行

第二學年曆

昭和六年
四月十日　春期休業終
仝　十一日　入學宣誓式始業式
仝　十二日　第一學期授業開始
七月五日　第一學期授業終了
仝　六日　夏期休業始
九月五日　夏期休業終
仝　六日　第二學期授業開始
十二月二十四日　第二學期授業終了
仝　二十五日　冬期休業始

昭和七年
一月七日　冬期休業終
仝　八日　第三學期授業開始
三月十日　第三學期授業終了
仝　十六日　春期休業始

第三學則

（大正十二年三月三十一日文部大臣許可）

第一條　本校ニ大正七年勅令第三百八十九號高等學校令及大正八年文部省第八號高等學校規程ニ基ク高等科ヲ置ク

第二章　學科課程及教授時數

第二條　本校ノ學科課程及教授時數ハ高等學校規程ノ定ムル所ニ依ル

第三條　本校ノ外國語ハ英語及獨語トス其ノ類別左ノ如シ

文科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ
文科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ
理科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ

第三章　學年、學期、式日及休業日

第四條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條　學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日マテ
第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日マテ
第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第六條　式日ハ左ノ如シ

一　入學式（宣誓式）
一　四大節拜賀式
一　本校創立記念式
一　卒業式

第七條　休業日ハ左ノ如シ

一日曜日

一　大祭日祝日
一　創立記念日　十一月三日
一　夏期休業　七月六日ヨリ九月五日マテ
一　冬期休業　十二月二十五日ヨリ一月七日マテ
一　春期休業　三月十六日ヨリ四月十日マテ

第四章　入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第八條　入學ノ時期ハ學年ノ始トス

第九條　入學志願者ノ手續及選拔試驗ニ關スル規定ハ毎年別ニ之ヲ定ム

第十條　入學ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル期間内ニ次ノ手續ヲ爲スヘシ

一　宣誓ヲナスコト
二　保証人一名連署ヲ以テ本校所定ノ在學証書ヲ差出スコト
　但シ保証人ハ父兄トシ父兄ナキ者ハ之ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者タルヘシ
三　履歷書及戸籍謄本ヲ差出スコト

前項ノ手續ヲ爲ササル者ニ對シテハ入學ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十一條　在學ノマヽ志願ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服セントスル者ハ保証人連署ヲ以テ豫メ本校ニ届出ツヘシ

第十二條　在學ノマヽ他ノ高等學校又ハ其他ノ學校ニ入學ヲ出願セントスルモノハ保証人連署ヲ以テ豫メ本校ノ許可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ他ノ學校ニ入學ヲ許サレタル者ハ其入學期日前ニ於テ第十九條ニ依リ退學ノ手續ヲナスヘシ

第二學年以上ニ轉科轉類ヲ願出ツル者アル時ハ缺員アル場合ニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項願書ニハ保証人連署スヘシ

前項ノ外轉科轉類ニ關スル規定ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第十三條　在學中身分上ニ異動アルトキハ其ノ都度直ニ届出ツヘシ

但シ戸籍ニ關スル場合ハ戸籍抄本ヲ添附スヘシ

第十四條　轉學ハ關係高等學校長ノ協議ニヨリ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ三箇月以上修學スル能ハサル見込ノ者ニシテ其ノ事由ヲ詳記シ保証人ノ連署ヲ以テ休學ヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可ス

但シ疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十六條　陸軍又ハ海軍現役ニ服スル者若ハ召集ニ應スル者其ノ服役又ハ召集ノ間ハ休學トス

第十七條　休學ハ當該學年間ニ限ル

但シ前條ニ依ルモノハ此ノ限ニアラス

第十八條　第十五條ニヨリ休學ヲ許可シタル者ハ次學年ノ始ヨリ其ノ原學年ニ編入ス

第十六條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後一箇月以内ニ於テ原學年ニ編入ス

第十九條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保証人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ

疾病ニ由ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十條　願ニヨリ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再入學ヲ願出ツルトキハ第二學年以上ニ限リ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ譯旨シテ退學ヲ願出テシム

一　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

二　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一箇年以上出席セサルモノ

四　正當ノ理由ナク又ハ屆出ヲナサスシテ引續キ一箇月以上出席セサル者

五　出席常ナラサル者

第二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ除名ス

一　引續キ二箇年間同一學年ニ在リテ猶進級又ハ卒業セサル者

但シ兵役ノ爲メ同一學年ニ在ル年數ハ之ヲ算入セス

二　前條ノ諭旨ノ後十五日ニ及フモ猶退學願ヲ差出ササル者

三　授業料及寄宿料ノ滯納二週間ニ及フ者

四　第十二條第一項ノ手續ヲ經スシテ他ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者

第二十三條　退學又ハ除名ニ關シテハ臨機ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

第五章　懲戒

第二十四條　校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ生徒タルノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學及退校トス

退校ニ處セラレタル者ニ對シ情狀ニヨリテハ其ノ執行ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第六章　課程ノ修了及卒業

第二十五條　各學年末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考査シ其ノ學年課程ノ修了又ハ卒業ヲ定ム

第二十六條　各學年ノ課程修了ハ當該學年ニ於ケル（一）努力（二）平常成績（三）試驗成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

但シ學科目ノ種類ニヨリ試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十七條　卒業成績ハ在學中ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

所定ノ全學科ヲ履修シ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條　試驗ハ臨時及定期ニ之ヲ行フ

第二十九條　學業成績ハ科目評點及平均評點ヲ以テ之ヲ表示シ各一百ヲ以テ最高トス

第三十條　成績考査並ニ試驗ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　服制

第三十一條　生徒ハ本校所定ノ帽及服ヲ着用スヘシ

第三十二條　服制ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章　寄宿及通學

第三十三條　新ニ入學セル第一學年生徒ハ寄宿舍ニ入舍スヘキモノトス

但シ本校ノ都合又ハ生徒願出ノ事情ニ依リ通學セシムルコトアルヘシ

第九章　考査料、入學料、授業料、寄宿料

第三十四條　入學志願者ハ考査料金五圓ヲ納付スヘシ

第三十五條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マテニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ

正當ノ事由ナク前項ノ手續ヲ了セサルモノニ對シテハ其ノ入學許可ヲ取消ス

第三十六條　授業料ハ一學年八拾圓寄宿料ハ一學年貳拾圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以內ニ納付セシムシ

第一學期授業料　參拾圓　寄宿料　六圓

第二學期授業料　參拾圓　寄宿料　八圓

第三學期授業料　貳拾圓　寄宿料　六圓

昭和三年度以前ニ於テ入學シタル者ノ授業料ハ一學年六拾五圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以內ニ納付セシム

第一學期　貳拾五圓

第二學期　貳拾五圓

第三學期　拾五圓

第三十七條　寄宿料ハ本校寄宿舍ニ入寮セル者ニ限リ之ヲ徵收スルモノトス

第三十八條　家庭ノ事情ニ依リ學資ノ支辨困難ナル生徒ニハ平素ノ勤惰性行等ヲ參酌シテ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトアルヘシ

第三十九條　授業料ノ減額又ハ免除ヲ受クヘキ生徒ハ學年每ニ之ヲ定ム但シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次學期分ヨリ之ヲ減免ス

第四十條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ其ノ減免ヲ受クル者ニ於テ學業ヲ怠リ若ハ不都合ノ行爲アリタル場合ニハ之ヲ止ムルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ケル當該學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徵收ス

第四十一條　中途入學セル者ニ對スル授業料ハ入學セル日ノ屬スル學期ノ分ヨリ

之ヲ徴収ス

第十六條ニ依リ休學シタル者休學ノ事故止ミ中途課業ニ就キタルトキハ當該學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徴収ス

第四十二條　中途退學者ニ對スル授業料ハ退學ノ日ノ屬スル次ノ學期ノ分ヨリ之ヲ徴セス

第四十三條　學期ノ中途寄宿寮ニ入寮セル者ニ對スル寄宿料ハ入寮セル日ノ屬スル月ヨリ起算シ月割トシテ之ヲ徴収ス

學期ノ中途退寮セルモノニ對シテハ當該學期ノ寄宿料ヲ徴収シ次ノ學期ノ分ヨリ之ヲ徴セス

第四十四條　授業料ハ缺席停學休學等ノ爲メニ之ヲ免除スルコトナシ

但シ第十六條ニ依リ休學シタル者ニ對シテハ授業料徴収期ノ前ニ在リテハ次月分ヨリ其ノ後ニ在リテハ次學期分ヨリ之ヲ徴収セス

第四十五條　第四十條第二項及第四十一條第二項及第四十四條但書ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ八圓（昭和三年度以前ニ入學シタル者ハ六圓五十錢トシ）寄宿料ノ月割額ハ弐圓トス

但シ第一學期分授業料及寄宿料ノ月割額ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス

第四十六條　既納ノ考査料入學料授業料及寄宿料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第四十七條　授業料及寄宿料ノ滯納一週間以上ニ及フトキハ之ヲ保證人ニ催告シ更ニ一週間以上ニ及フ者ハ之ヲ除名ス

第四　教育綱領

一　自治協同ノ精神ニ依リ愛國奉公ノ實ヲ擧クルコト

一　質實剛健ノ氣宇ヲ持シ正義人道ヲ念トスルコト

一　獨創進取ノ習性ヲ養ヒ眞理ヘノ造詣ヲ期スルコト

第五　細則

一　學則施行細則

第一章　隨意科目及撰擇科目

第一條　各科各學年ヲ通シ第二外國語ハ隨意科目ナリト雖當分第一外國語ト同等

ニ履修セシム

第二條　理科第三學年ノ數學（二）及圖畫（二）理科第三學年ノ植物及動物（講義二實驗二）トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ撰擇セシム

第三條　前條ノ撰擇科目屆出ハ第二學年中ニ之ヲナスヘシ而シテ選定シタル學科目ハ第三學年第一學期中ニ變更ヲ願出ツルトキハ詮議ノ上特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二章　入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第四條　高等學校高等科ニ入學シ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ体格檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

一　中學校第四學年ヲ修了シタル者

二　高等學校尋常科ヲ修了シタル者

三　高等學校高等科入學資格試驗檢定ニ合格シタル者

四　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

五　文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者

六　文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

第五條　体格檢査ハ左ノ項目ニ就キ施行スルモノトス

（一）身長　（二）体重　（三）言語障害　（四）聽力及耳疾　（五）視力及眼疾　（六）其他ノ疾病　（七）畸形及不具癈疾

前記各項目ノ外必要ト認メタル事項ニ就テノ檢査ハ適宜之ヲ行フモノトス

第六條　体格檢査ノ結果ハ之ヲ發表セサルモノトス

第七條　學則第十條ニ依リ入學ノ許可ヲ得タル者ノ爲スヘキ手續及心得ヘキコト左ノ如シ

一　宣誓ハ本校所定ノ帳簿並ニ木札ニ姓名ヲ自署シ宣誓式ニ於テ大要左ノ宣誓ヲナサシム

宣　誓

本校ニ入學ヲ許可セラレタルニ就テハ本校教育ノ精神ヲ體シ生徒タルノ本分ヲ守リ以テ所期ノ目的ヲ貫徹センコトヲ誓フ

年　月　日

生　徒　一　同

二　在學證書ノ樣式ハ左ノ通リ之ヲ定ム

高知高等學校第　　期入學生總代

氏　　名

在學證書　（用紙美濃白紙）

㊞ 三錢收入印紙

私儀今般御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ在學中校則ヲ遵守可致ハ勿論學籍ヲ脫シ候後ト雖モ在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ確實ニ履行可致候若シ違背致候節ハ連署者ニ於テ一切之ヲ引受可申依而證書如斯ニ候也

昭和　年　月　日

本籍　道廳府縣　番地　華族戸　士族　戸主　男弟等

現住所

本人　何　某㊞

明治　年　月　日生

本籍　道廳府縣　番地　華族戸　士族　業務

現住所

本人トノ關係

保證人　何　某㊞

年　月　日生

高知高等學校長　何　某殿

三　保證人タル本校職員ニハ市町村長ノ奥書ヲ要セサルモノトス

四　在學證書及履歷書ハ各正副二通ヲ戸籍謄本ハ一通ヲ差出スヘキモノトス

五　學則第十條第二號ノ保證人ニ變動ヲ生シタル時ハ一週日以内ニ其ノ手續ヲナスヘシ

六　保證人ノ住所ニ異動アリタル時ハ速ニ屆出ツヘシ

第八條　學則第十二條第三項ニヨリ轉科轉類セントスル者ハ三月末日迄ニ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

轉科轉類ヲ許可スル場合ハ左ノ條件ニ依ルモノトス

一　轉科轉類ハ同學年若ハ其ノ以下ノ學年ニ限ル

一　第一學年ニ轉科轉類セントスル者ニハ入學選拔試驗ヲ受ケシム

一　第二學年以上ニ轉科轉類セントスル者ニハ缺員アル場合ニ限リ左ノ方法ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ

(一)轉科轉類セントスル者ニ對シテハ從來ノ操行及學業成績ヲ參考シタル上檢定試驗ヲ課ス

檢定試驗ハ轉入スントスル科類ニ於ケル前學年以下ノ全學科目ニ付之ヲ課スルモノトス但シ轉科轉類セントスル者ノ既修シタル學科目ニシテ其ノ內容程度及每週敎授時數ニ於テ同等以上ト認ムヘキ場合ハ當該學科目ニ限リ試驗ヲ課セサルコトヲ得

(二)轉科轉類ノ時期ハ學年ノ始トス

第九條　學則第十五條ニヨリ休學願出ノ者ニハ當該學期ノ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス其ノ場合ハ許可證ヲ下附スヘシ但シ學則第十六條ニヨル者ハ此限ニアラス

第十條　凡テ休學明ケノ者ハ其ノ滿期前ニ夫々復校ノ打合セヲナスヘキモノトス

第十一條　疾病ニヨル休學者ノ復校ニハ校醫ノ健康診斷ヲ要スルモノトス

第十二條　學則第十九條ニヨル退學願出ノ者ニハ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス

第十三條　學則第二十一條各項第二十二條第一項及第二項ニヨル者ハ學則第二十條ノ願出ヲナスコトヲ得ス

第十四條　轉學休學退學除名ノ場合ニ於テハ保證人ニモ通告ス

第三章　編　制

第十五條　學級ハ第一學年ノ始ニ編制シ之ヲ組ト稱ス

組ハ第三學年ヲ通シテ變更セサルヲ常例トス

第十六條　各學級ニ學級主任一名及學級總代二名（正副）ヲ置ク學級主任ハ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス

學級總代ハ各學級生徒ノ互選シタル正副各二名ノ候補者ニツキ學校長之ヲ命ス

但シ第一學年ニアリテハ第一學期間ハ互選ニヨラスシテ學校長之ヲ命ス

第十七條　學級總代ハ學級主任ノ指導ノ下ニ其ノ學級ニ關スル諸般ノ要務ニ當ルモノトス

第十八條　學級總代ハ生徒主事ノ召集ニ應シ會議ヲ開キ本校生徒ノ風紀ノ維持及肅正ニ任スルモノトス

第十九條　學級總代ノ互選及任命ハ各學年ノ始ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ任期ハ其ノ學年間トス但シ第一學年ニアリテハ第二學期ノ始ニ於テ之ヲ行フ

第四章　試驗、修了及卒業

第二十條　試驗ヲ分チテ左ノ二種トス

臨時試驗

定期試驗

臨時試驗ハ之ヲ必要トスル學科ニツキ每學期一回以上施行スルモノニシテ其ノ期日ハ擔任敎官之ヲ定メ施行後之ヲ敎務課ニ通知スヘシ

定期試驗ハ別ニ時間ヲ定メテ之ヲ行フ

定期試驗ハ之ヲ豫メ生徒ニ告知セントスルトキハ先ツ學級主任ト打合ハスヘキモノトス

第一次定期試驗ハ第一學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ

第二次定期試驗ハ第二學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ

第三次定期試驗ハ第三學期ニ於テ履修セル部分並ニ當該學年間履修セル所ニ就キ之ヲ行フ

第二十一條　試驗ノ成績ハ評點及評號ヲ以テ表示スルモノトス

評點ハ壹百點ヲ以テ滿點トス

第二十二條　學業成績ヲ分チテ學期成績、學年成績及卒業成績トス其ノ表示法左ノ如シ

一　學期成績　各科評點並平均評點

二　學年成績　各學期成績ノ和ヲ三除シタルモノ

三　卒業成績　各學年成積ノ和ヲ三除シタルモノ

生徒ニ示ス成績ハ之ヲ評號及概評ヲ以テス

第二十三條　文科理科各學年學科課程並ニ學業成績評點科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

文科學科課程並評點科目表

學年 / 學科目 / 類別	第一學年						第二學年						第三學年					
	甲類			乙類			甲類			乙類			甲類			乙類		
	每週時數	科目數	每科目時數	每週時數	科目數	每科目時數	每週時數	科目數	每科目時數	每週時數	科目數	每科目時數	每週時數	科目數	每科目時數	每週時數	科目數	每科目時數
英																		
獨																		

學年	類別		修身	國語及漢文	英語	獨語	歴史	地理	哲學概説	心理及論理	法制及經濟	數學	自然科學	体操
第一學年	甲類	每週時數	一	六	九	四	三	二				三	二	三
			實踐道德 國民道德	講讀 作文 國語文法			日本史	世界各國ノ現狀				諸論大要	生物及地質	教練 体操及武道
		科目數	〇	三	三	一	一	一				一	一	一
	乙類	每週時數	一	六	三	一一	三	二				三	二	三
			同上	同上			同上	同上				同上	同上	同上
		科目數	〇	三	一	三	一	一				一	一	一
第二學年	甲類	每週時數	一	五	八	四	五			二	二		三	三
			國民道德 倫理學大意	講讀、作文、國語文法、國文學史			東洋史 西洋史			論理	法制		物理及化學	教練体操
		科目數	一	三	三	二	二			一	一		一	一
	乙類	每週時數	一	五	三	一〇	五			二	二		三	三
			同上	同上			同上			同上	同上		同上	同上
		科目數	一	三	一	三	二			一	一		一	一
第三學年	甲類	每週時數	一	五	八	四	四		三	二	二			三
			同上	同上			西洋史		大要	心理	經濟			同上
		科目數	一	三	三	二	一		一	一	一			一
	乙類	每週時數	一	五	三	一〇	四		三	二	二			三
			同上	同上			同上		同上	同上	同上			同上
		科目數	一	三	一	三	一		一	一	一			一

理科學科課程並評點科目表

學年	類別		修身	國語及漢文	英語	獨語	數學	物理	化學	每週教授時數
第一學年	甲類 英	每週時數	一	四	八	四	四			三三
			實踐道德 國民道德	講讀 作文			代數 立体幾何 三角法			
		科目數	〇	三	二	一	二			一三
	乙類 獨	每週時數	一	四	三	一〇	四			三四
			同上	同上			同上			
		科目數	〇	三	一	三	二			一三
第二學年	甲類 英	每週時數	一	二	六	四	四	三	三	三三
			國民道德 倫理學大意	同上			微分 初等幾何 解析幾何	力學 物性 音響 熱	無機化學	
		科目數	一	二	二	一	二	一	一	一四
	乙類 獨	每週時數	一	二	三	九	四	三	三	三四
			同上	同上			同上	同上	同上	
		科目數	一	二	一	三	二	一	一	一五
第三學年	甲類 英	每週時數	一		六	四	(二)四	五	五	三二
			同上				微分、積分及初等力學	光 磁氣 電氣 講義三 實驗二	有機化學 講義三 實驗二	
		科目數	一		二	一	(一)二	二	二	一三
	乙類 獨	每週時數	一		三	九	(二)四	五	五	三三
			同上				同上	同上 講義三 實驗二	同上 講義三 實驗二	
		科目數	一		一	三	(一)二	二	二	一三

植物及動物	二	植物一般	一	二	同上	一	二	動物一般	一	二	同上	一	(四)	植物一般 動物一般 講義二 實驗二	二	(四)	同上 講義一 實驗二	(二)
鑛物及地質	二		一	二		一												
心理							二	大意	一	二	同上	一						
法制及經濟	二	一般	一	二	同上	一												
圖畫	二	自在畫 平面幾何畫 立体幾何畫	一	二	同上	一	二	立体幾何畫	一	二	同上	一	(二)	同上	(一)	(二)	同上	(一)
体操	三	教練体操及武道	一	三	同上	一	三	教練体操	一	三	同上	一	三	同上	一	三	同上	一
每週教授時數	三二		一三	三三		一四	三二		一四	三四		一四	三二		一四	三四		一三

隨意科ノ科目評點ハ正科ニ準スルモノトス

第二十四條　學年成績ノ評點左ノ條件ノ一ニ該當スル者又ハ努力ヲ缺ケル者ハ之ヲ原級ニ留ムルモノトス

一　平均評點六十點未滿ノモノ

二　一科目ノ評點四十點未滿ノモノ

三　科目評點五十點未滿ノモノ二科目以上アルモノ

四　科目評點五十點未滿ノモノ一科目ノ外ニ科目評點六十點未滿ノモノ二科目以上アルモノ

五　科目評點六十點未滿ノモノ科目總數ノ三分ノ一ヲ超ユルモノ

第二十五條　原級ニ留マル者ハ全學科ヲ履修スヘキモノトス

第二十六條　學業成績ヲ査定スル方法ヲ左ノ如ク定ム

一　定期試驗ノ評點ト平素點トヲ以テ評點ヲ作ル

二　平素點ハ臨時試驗評點及日課點並ニ平素ノ努力ヲ參照シテ之ヲ作ル

三　臨時試驗評點ナキ學科ノ平素點ハ日課點及平素ノ努力ヲ參照シテ之ヲ作ル

日課點ナキ場合ハ前項ニ準ス

第二十七條　某科目ノ試驗ニ缺席シタルモノニ對シテハ其ノ科目ノ試驗成績ヲ零點トス但シ第二十八條各號ニ該當スルモノヲ除キ其ノ缺席ノ理由正當ナリト認メタルモノニ對シテハ平素ノ課業ノ成績及勤惰ヲ參酌シテ十分ノ六以内ノ認定評點ヲ與フルコトアルヘシ

追試驗ハ之ヲ行ハス

第二十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ認定評點ヲ與ヘス

一　停學處分ヲ受ケタル爲メ試驗ニ缺席シタルモノ

二　當該學年ニ於テ某科目ノ定期試驗ニ缺席スルコト二回以上ニ及ヒ特別ノ詮議ノ餘地ナキモノ

三　試驗ニ缺席シタル事由ヲ所定ノ期日內ニ屆出テサルモノ

四　當該學期ニ於テ某科目ノ缺課時數特ニ多キモノ

第二十九條　試驗ニ於テ不正行爲ヲナシタルモノアルトキハ直チニ受驗資格ヲ喪失セシメ嚴重ニ之ヲ處罰ス

第三十條　外國語科ニ限リ希望者ニ對シ每年一回競爭試驗ヲ行ヒ其ノ成績優秀ナルモノニ對シテハ學籍簿ニ記入シ且ツ之ヲ表彰ス

第三十一條　學則第二十七條ノ卒業證書ハ左ノ書式ニヨル

卒業證書

本籍族籍

某

何

年　月　日生

右者本校ニ於テ高等科（文）（理）科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

高知高等學校長位勳爵　氏　名印

番

號

校印

第三十二條　各學年ノ修了證書ヲ要スル者アルトキハ其ノ願出ニヨリ之ヲ交付スヘシ

第五章　授業料及寄宿料

第三十三條　授業料及寄宿料ハ現金ヲ以テ納付スヘシ

但シ病氣其他ノ事故ニ依リ歸鄉シ又ハ他ノ地方ニ在ル者ハ郵便爲替ヲ以テ納付スルコトヲ得

第三十四條　已ムヲ得サル事故ノタメニ學則第三十六條ノ納付期日內ニ納付スルコト能ハサル者ハ其ノ旨會計課ニ申出ツヘシ

第三十五條　學則第三十六條ノ徴收期ヲ過キタル後納付ノ義務ヲ生シタル授業料又ハ寄宿料ハ其ノ義務ノ生シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第六章　服制

第三十六條　登校ニハ必ス制服ヲ着用スヘシ但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサルトキハ其ノ旨生徒課ニ屆出ツヘシ脚袢ハ特ニ指定シタル場合ノ外着用セサルコトヲ得

外出ノ際ハ制服又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第三十七條　新ニ入學セル生徒ニ對シテハ一ケ月間和服着用ヲ許可ス

第三十八條　夏服ハ五月一日ヨリ十月二十日マテ着用スヘシ

略帽ハ五月一日ヨリ十月二十日マテ着用スルコトヲ得

但シ式日又ハ体操ノ課業其ノ他特ニ示達シタル場合ニハ必ス正帽ヲ着用スヘシ

第三十九條　外套ヲ着用スル者ハ乘馬形（絨製黑色又ハ濃紺色）又ハマント（絨製黑色又ハ濃紺色）ニ限リ之ヲ用フルコトヲ得

第四十條　生徒ノ制服ハ左ノ定メニヨルヘシ

制帽		制服		
正帽	略帽	夏服		冬服
		上衣	ヅボン	上衣
地質	地質	地質	地質	地質
帽章	側章	釦	釦	釦
眼庇	徽章	制式	制式	制式
頤紐	焦茶色（幅約一寸七分）白條二條織込	霜降小倉	上衣ニ同シ	絨又ハ小倉織、黑色又ハ濃紺色
横章	普通型（高約三寸　緣幅約五寸）	黑色煉物（如圖）	普通	黑色煉物（如圖）
制式	制式	立襟背廣（褄角形）（ポケツトハ上衣ノ左右兩脇及左胸部ニ各一個）		立襟背廣夏服ニ同シ
絨製（黑色及濃紺色）	本校徽章金色（如圖）	黑革	黑革	白條二條
海軍型	麥稈	金色本校徽章（左側結目ニ附ス）	焦茶色（幅約一寸七分）白條二條織込	普通型（高約三寸　緣幅約五寸）

服	
ボタン	上衣ニ同シ
制式	普通
靴	
制式	黒革又ハ黒「ズック」
制式	編上ゲ又ハ短靴
脚袢	
制式	絨又ハ「カツラギ」製　カーキ色
制式	巻脚袢
襟章	
制式	文科ハL理科ハS金色

帽章

釦

略帽

第七章　寄宿寮

第四十一條　寄宿寮ハ本校教育ノ根本精神ニ基キ人格ヲ修養シ社會的生活ヲ習得セシムル所トス

第四十二條　寮生ハ規約ヲ定メ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ實行スルモノトス
規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ
一　役員選舉ニ關スルコト
一　寮内ノ秩序衞生風儀ニ關スルコト
一　炊事事務炊事監督ニ關スルコト
一　其他社會生活ニ必要ナルコト
第四十三條　寮内ニ總務一名副總務一名委員若干名ノ役員ヲ置ク
役員ハ寮生ノ互選シタル候補者ニ就キ學校長之ヲ命ス
第四十四條　役員ハ生徒主事ノ指導ニヨリ寮内整理ノ責ニ任シ規約ノ實行ヲ督勵ス
第四十五條　各室人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム
第四十六條　寮内ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ經テ生徒主事之ヲ定ム
第四十七條　寮生ハ毎夜點檢ヲ受クルモノトス
但シ必要アルトキハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ
點檢ノ方法ハ生徒主事之ヲ定ム

第四十八條　外出旅行歸省ニ關シテハ左ノ手續ヲナスヘシ
一　外出ノ際門限時刻ニ遲ルヘキ事情アル者ハ豫メ其ノ事由ヲ屆ケ置クヘシ
一　已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後歸寮シタル者ハ翌朝遲滯ナク其ノ事由ヲ屆出ツヘシ
一　已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後特ニ外出セントスル者ハ寮務當直ノ認可ヲ受クヘシ
一　外泊歸省又ハ旅行ノ場合ハ豫メ屆出ツヘシ
但シ春夏冬各期ノ休業中ハ此ノ限ニアラス
一　外出中前號ノ手續ヲナス遑ナクシテ外泊シタル者ハ速カニ其ノ事由ト居所トヲ通知シ歸寮ノ際更ニ屆出ツヘシ
第四十九條　缺席又ハ缺課セントスルトキハ豫メ寮務當直ニ屆出ツヘシ
第五十條　寮生ニ宛テタル郵便物電報等ハ總テ生徒課ヲ經由スルモノトス
第五十一條　寮生ハ必ス在寮誓書ヲ差出スヘシ其ノ書式ハ左ノ如シ

印紙 50

在寮誓書

私儀今般御校寄宿寮ニ入寮致候ニ付テハ寄宿寮諸規則堅ク相守リ可申
此段相誓候也

本籍
族稱
戸主又ハ戸主何某何男（弟）
科
年
類

年　月　日

何　某印

何年月日生

前書何某入寮致候ニ付テハ在寮中ハ勿論退寮後ト雖モ同人在寮中ニ係ル事件ハ拙者ニ於テ一切負擔可致候也

本人ノ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スヘキ者

本籍
職業

本人ニ對スル關係

年　月　日

何　某印

何年月日生

高知高等學校長　何　誰殿

第八章　通學

第五十二條　通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラス毎學年ノ始ニ於テ本校所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ認メ學級主任ヲ經テ生徒課ニ屆ケ出ツヘシ

第五十三條　通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ直ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第五十四條　通學生徒ノ宿所ニシテ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシムル

第五十五條　通學生徒ニシテ在寮生徒ニ面會セントスルトキハ必ス應接室ニ於テナスヘシ

二　生徒心得

第一章　總則

第一條　生徒ハ常ニ其ノ本分ヲ守リ品位ヲ維持スヘシ

第二條　常ニ禮儀ヲ重ンスヘシ

第三條　常ニ質素清潔ヲ旨トスヘシ

第四條　起居運動飲食等ニツキテハ規律節制ヲ主トスヘシ

第五條　公德ヲ尊ヒ公共物ヲ大切ニスヘシ

第六條　學習ハ自發的ニシテ平素ノ努力ソノモノニ價値アルコトヲ了得シ向學ノ風ヲ盛ニスヘシ

第七條　風紀ヲ紊ス虞アル場所ニハ立入ルヘカラス

第八條　飲酒及喫煙ハ之ヲ愼ムヘシ

喫煙ハ校内所定ノ場所ニ限ル

第二章　教室

第九條　教室ニ於テハ常ニ所定ノ席ニ着クヘシ

第十條　教官定刻ニ至ルモ臨場セサルトキハ教務課ニ就キ其ノ指揮ヲ受クヘシ

第三章　願届

第十一條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ缺席缺課スル者ハ其ノ事由ヲ記シ登校後三日以内ニ届書ヲ生徒課ニ差出スヘシ但シ七日以上引續キ缺席スル者ハ疾病ニアリテハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ其他ニアリテハ其ノ事由ヲ記シ保證人連署ヲ以テ缺席ノ初日ヨリ十日以内ニ届出ツヘシ

第十二條　生徒ヨリ學校ニ差出スヘキ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ各自ノ指導ヲ經由スヘキモノトス

第十三條　近親ノ喪ニ丁ルトキハ左ノ日數内ハ忌引トシテ取扱フ

父母ノ喪	七日
祖父母ノ喪	五日
兄弟姉妹ノ喪	五日
曾祖父母又ハ伯叔父母ノ喪	三日

第四章　揭示集會出版

第十四條　學校ノ示達ハ速ニ承知スヘキモノナレハ時々揭示ニ注意スヘシ

第十五條　生徒揭示ヲ爲サントスルトキハ豫メ生徒主事ノ承認ヲ受ケ所定ノ場所

ニ限リ之ヲ貼付スヘシ

第十六條　集會ヲ爲サントスルトキハ之カ代表者ヲ定メ所定ノ用紙ニ其ノ目的日時場所等ヲ記載シ前日中ニ生徒主事ニ屆出ツヘシ言論ニ關スル集會ニツキテハ其ノ演題又ハ論題ヲモ添付スヘシ

第十七條　集會ノ爲メ本校々舍ヲ使用セントスルトキハ代表者ヲ定メ生徒課ニ願ヒ出ツヘシ

第十八條　定期ノ集會、學術、運動等ノ會合ヲ創設セントスルトキハ其ノ目的方法等ヲ具シ生徒主事ニ願ヒ出ツヘシ

解散シタルトキハ直ニ屆出ツヘシ

第十九條　生徒出版物等ヲ發行セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　本校外ノ者ト集會及競技ヲナサントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

三　校務分掌規程

第一章　教育

第一條　教授ニ關スル事務ハ學科毎ニ當該教官ノ分擔トス

第二條　訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ特ニ指導ヲ置キ生徒主事之ヲ主掌ス

第三條　教育ニ關スル事務ヲ整理セシメムカ爲學科主任及學級主任ヲ置ク

第四條　學科主任ハ左ノ學科ニツキ各一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第一學科　修身、哲學概說、心理及論理

第二學科　國語及漢文

第三學科　歷史、地理

第四學科　法制及經濟

第五學科　英語

第六學科　獨語

第七學科　數學

第八學科　物理、自然科學中物理ニ關スル事項

第九學科　化學、自然科學中化學ニ關スル事項

第十學科　植物及動物、鑛物及地質、自然科學中植物及動物並ニ鑛物及地質ニ關スル事項

第十一學科　圖畫
第十二學科　體操

第五條　學科主任ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務課長ト協議ノ上當該學科授業ニ關スル事務ヲ掌ルモノニシテ其ノ事項概ネ左ノ如シ

一　當該學科教授ニ關スル一切ノ事項
二　當該學科ノ教授上必要ナル設備ニ關スル一切ノ事項
三　其他當該學科ニ關スルコト

第六條　學級主任ハ各學級一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス其ノ任期ハ一箇年トス

第七條　學級主任ノ擔任スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一　擔任學級生徒ノ訓育ニ關スル事項
二　擔任學級生徒ノ出缺調査ニ關スル事項
三　擔任學級生徒ノ學業成績ニ關スル事項
四　其他擔任學級生徒ニ關スル一切ノ事項

第八條　指導ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ委囑シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシムルモノトス
但シ生徒又ハ父兄ニ於テ特ニ希望ヲ申出ツルコトヲ得ス

第九條　指導ハ生徒主事及學級主任ト連絡シテ其ノ擔任ニ屬スル生徒ノ品行、學業、勤惰、健康其他一身上ノ事ニ關シテ在學中絶エス適宜ニ指導督勵シ生徒ヲシテ其ノ本分ヲ完ウセシメンコトヲ期スルモノトス

第十條　生徒ヨリ學校ニ差出スヘキ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ各自ノ指導ヲ經由スヘキモノトス

第二章　事務

第一條　事務ヲ分チテ教務課、生徒課、圖書課、庶務課及會計課トス

第二條　各課ニ課長ヲ置キ教務課、圖書課及庶務課ノ課長ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス
生徒課長ハ生徒主事中ヨリ學校長之ヲ命ス
會計課長ハ會計主任ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　各課所要ノ勤務員ハ學校長適宜之ヲ命ス

第四條　教務課主管事務左ノ如シ

一　學科課程、教授要目、教科用圖書、教官ノ分擔及日課ニ關スル事項
一　教室及教官室ニ關スル事項
一　生徒募集、選拔試驗及入學ニ關スル事項
一　學級編成ニ關スル事項
一　生徒學籍簿ニ關スル事項
一　生徒出席簿ニ關スル事項
一　試驗、進級、及卒業ニ關スル事項
一　成績表及成績證明ニ關スル事項
一　生徒ノ休學、退學、除名ニ關スル事項
一　野外演習、射撃演習及修學旅行ニ關スル事項
一　在學證明及兵役ニ關スル事項
一　卒業生ノ大學進入ニ關スル事項
一　學力檢定ニ關スル事項

一　卒業生ニ關スル事項
一　其他教務ニ關スル一切ノ事項

第五條　生徒課主管事務左ノ如シ

一　生徒ノ指導、監督、訓誨及懲戒ニ關スル事項
一　生徒ノ保健及衞生ニ關スル事項
一　學校衞生ニ關スル事項
一　生徒ノ缺席、缺課、遲刻ニ關スル事項
一　生徒ノ身体檢査ニ關スル事項
一　生徒ノ學籍及兵役ニ關スル事項
一　學級總代ニ關スル事項
一　生徒ノ通學及宿所ニ關スル事項
一　生徒ノ入寮及退寮ニ關スル事項
一　生徒控所ニ關スル事項
一　生徒集會所ニ關スル事項
一　生徒ノ集會ニ關スル事項

一　生徒ノ掲示ニ關スル事項
一　學資保管ニ關スル事項
一　寄宿寮ノ衞生及警備ニ關スル事項
一　寄宿寮ノ炊事監督ニ關スル事項
一　寮宿直ニ關スル事項
一　校内營業者ニ關スル事項
一　生徒ノ品行證明ニ關スル事項
一　其他生徒訓育及寄宿寮ニ關スル一切ノ事項

第六條　圖書課主管事務左ノ如シ

一　圖書ノ保存及整理ニ關スル事項
一　圖書目錄ニ關スル事項
一　圖書貸出ニ關スル事項
一　書庫及閱覽室ニ關スル事項
一　圖書購入ノ調査ニ關スル事項
一　新聞、雜誌、年報、一覽等ノ保存及整理ニ關スル事項

一　其他圖書ニ關スル一切ノ事項

第七條　庶務課主管事務左ノ如シ

一　御眞影ノ奉安及勅語ノ保管ニ關スル事項
一　校長ノ官印及校印ノ保管ニ關スル事項
一　職員ノ進退、身分及服務ニ關スル事項
一　職員ノ叙位叙勳ニ關スル事項
一　職員ノ賞、伺、届ニ關スル事項
一　雇外國人ニ關スル事項
一　規則及命令ニ關スル事項
一　官報報告、統計、一覽等ニ關スル事項
一　會議ニ關スル事項
一　公文書處理ニ關スル事項
一　文書ノ接受及發送ニ關スル事項
一　儀式ニ關スル事項
一　校旗ニ關スル事項

一　審附ニ關スル事項
一　重要事項ノ記錄ニ關スル事項
一　事務當直ニ關スル事項
一　其他他課ニ屬セサル一切ノ事項

第八條　會計課主管事務左ノ如シ

一　歲入、歲出ノ豫算及決算ニ關スル事項
一　金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
一　物品ノ出納及保管ニ關スル事項
一　物品ノ購入、不用物品ノ處分、修理等ニ關スル事項
一　土地建物ノ營繕ニ關スル事項
一　資金ニ關スル事項
一　官有財產ニ關スル事項
一　會計檢查ニ關スル事項
一　物品檢閱ニ關スル事項
一　備人ニ關スル事項

一　校內一般ノ警備、取締ニ關スル事項
一　電話、電燈、瓦斯、給水及煖爐取扱ニ關スル事項
一　校舍內外ノ洒掃ニ關スル事項
一　其他會計ニ關スル一切ノ事項

第九條　各課ノ主管事項ニシテ他課ニ關聯スルモノニツイテハ合議ノ上之ヲ處理スルモノトス

第十條　各課ニ於テ處理セル重要事項ニ就テハ其ノ都度必ス之ヲ他課ニ通告シ且其ノ概要ヲ學校長ニ具申スヘキモノトス

第十一條　各課所屬職員ハ常務ノ外時宜ニヨリ他課ノ事務ヲ補助スヘシ

四　評議員規程

第一條　本校ニ評議員若干名ヲ置ク

第二條　評議員ハ本校教授中ヨリ學校長之ヲ命ス

第三條　評議員ハ學校長ノ諮詢ニ應シ意見ヲ開陳ス

五　文書處理規程

第一條　本校ニ到達スル文書ハ第六條ニ依ルモノヽ外庶務課ニ於テ之ヲ接受シ受

付簿ニ登記シ收受ノ番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ノ印ヲ徵スヘシ

二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

第二條　親展書ハ封緘ノマヽ、宛名ニ配付スヘシ

第三條　配付ヲ受ケタル文書ニシテ他課主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務課ニ還付スヘシ

第四條　配付ヲ受ケタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ

事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハサルトキ又ハ處分案ヲ要スルカ否カノ不明ナルトキハ學校長ニ供閲シテ指揮ヲ受クヘシ

第五條　決裁ヲ受ケントスル文書ニシテ他課ニ關聯スル事件ハ該課ニ合議スヘシ

決裁濟ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ之ヲ處理スヘシ

第六條　左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ直ニ接受スヘシ

一　教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

二　生徒ヨリ差出ス願届書類

三　入學志願關係書類

四　其他學校長ノ指定シタル書類

第七條　左ノ文書ハ主掌課主務者限リ處分スヘシ

一　生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二　生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

三　生徒ノ宿所、入寮、退寮及諸届出ニ關スルモノ

四　物品ノ支給ニ關スルモノ

五　一定ノ例規ニ依ルモノ

第八條　發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ當直ニ回付スヘシ

第九條　庶課務ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ之ヲ件名簿ニ登記スヘシ

第十條　庶課務ニ於テ郵便、電信ヲ發送シタルトキハ月日、受信名、發信名、料金ヲ登記シ取扱主任檢印スヘシ

第十一條　事件ノ完結シタル文書ニシテ各課ニ保存スヘキモノヲ除ク外ハ總テ之ヲ庶務課ニ回付スヘシ

各分課ニ於テ保存スヘキ文書ハ別ニ定ムル所ノ樣式ニ依リ之ヲ編纂シ又ハ整理

スヘシ

六　校旗取扱方

（昭和三年十月九日制定
昭和四年九月三十日改正）

第一條　校旗ハ所定ノ場所ニ藏置シ庶務課長之ヲ保管ス

第二條　校旗ハ儀式及特ニ學校長ノ指定シタル場合ニ出場ス

第三條　校旗ハ庶務課長之ヲ取扱ヒ校舍外ニ出ツルトキハ旗手之ヲ捧持シ護衛ヲ付ス

第四條　旗手及護衛ハ學友會總務及總務部委員之ニ當ル

七　物品會計規程細則

（昭和四年三月一日
文部大臣許可）

第一章　總　則

第一條　本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品、消耗品トシ更ニ備品ノ用途ヲ共用、專用ノ二種トス共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ云フ

但シ備品、消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

第三條　通常所用ノ備品、消耗品ノ員數ハ各部ニ於テ之ヲ豫定シ每年度始メニ於テ之ヲ會計課ニ回付シ學校長之ヲ決定ス

第四條　常用ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ一ケ年ノ豫定數量ヲ年一回若クハ數回ニ購入シ之ヲ藏置スヘシ

但シ學術用ノ器械、標本等並ニ其ノ他豫定シ難キモノハ此限リニアラス

第二章　出　納

第五條　物品ノ出納ハ學校長ノ命令アル文書ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第六條　各部ニ於ケル所要ノ物品ハ品目、數量、需用ノ事由及各部名ヲ記載セル請求書ヲ物品監守者又ハ物品取扱主任者ヲ經由シテ會計課ニ差出スヘシ

第七條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏之ヲ調査シ學校長ノ命令ニ依リ在庫品アルトキハ直ニ之ヲ支給シ購入ヲ要スルモノハ購入ノ手續ヲ經テ之ヲ支給スヘシ

第八條　生產又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品目、數量及價格若クハ評價ヲ付シ物品會計官吏ヲ經テ受入ノ手續ヲナスヘシ

第九條　學術上機械ノ製作、修理等ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇ス

ル場合ハ便宜各部請求者ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徵シ之ヲ添付シテ會計課ニ請求スヘシ但シ註文上圖案ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

外國註文品ニシテ見積書ヲ徵スルコト能ハサルトキハ之ニ代フルヘキ調書ヲ添付スヘシ

第十條　物品會計官吏備品ノ受入ヲ爲シタルトキハ直ニ記號、番號ヲ相當ノ箇所ニ付スヘシ

第十一條　物品會計官吏ニ於テ物品ヲ支給セントスルトキハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ交付シ物品請求書相當欄ニ受領證印ヲ徵スヘシ

第十二條　各部使用中ノ物品ニシテ不用ニ屬スルモノアルトキハ直ニ會計課ニ返付スヘシ物品會計官吏ハ之ヲ審査シ爾後使用ニ堪フヘキモノハ保存シ其ノ見込ナキモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ裁定ヲ經テ之ヲ處分スヘシ

第三章　保管及監督

第十三條　共用物品ノ監守及取扱ノ責任ヲ明確ナラシムル爲メ各部ニ物品監守者及取扱主任者ヲ置キ其ノ區域左表ノ通リ之ヲ定ム

但シ專用物品ハ各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

物品監守區域表

區分	監守區域
教務課	教室全部（特別教室ヲ除ク）、教務課、教官室
庶務課	庶務課、御眞影庫、校長室、應接室、宿直室、會議室、講堂、受付室
生徒課	生徒課、生徒控所、柔劍道場、雨天体操場、洗身場、銃器室
圖書課	圖書課、閱覽室、書庫
圖畫教室	製圖室
博物教室	生物學ニ屬スル室內、地質鑛物學ニ屬スル室內
物理教室	物理學教室ニ屬スル室內
化學教室	化學教室ニ屬スル室內
會計課	會計課、小使室、其他各課ニ屬セサルモノ
寄宿舍	寄宿舍全部ニ屬スル室內

第十四條　物品監守者又ハ物品取扱主任者物品ノ支給ヲ受ケタル時ハ直ニ所定ノ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ記帳シ之ヲ整理スヘシ

第十五條　使用中ノ物品ニ就テハ物品會計官吏ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理スヘシ

一　備品ハ毎年一回以上備品監守簿ニ依リ現品ヲ査閲ス

二　消耗品ハ各學期一回以上消耗品受拂簿ニ依リ其ノ適否ヲ調査シ更ニ現品ノ對照ヲナスヘシ

三　前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シ又ハ其ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ具狀スヘシ

第十六條　各部ニ於テ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ物品監守者若クハ物品取扱主任者ハ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ具申スヘシ

第十七條　物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ自然破損ニシテ修理ノ上使用見込アルモノハ之カ修理ヲ會計課ニ請求シ其ノ見込ナキモノハ直ニ返付ノ手續ヲナスヘシ

第十八條　第十六條ノ場合ニ於テハ事情ニヨリ物品檢閲委員ノ合議ノ上學校長ノ裁定ニヨリ之ヲ修理セシメ又ハ代品若クハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第四章　檢閲

第十九條　學校長ハ物品檢閲委員若干名ヲ置キ本校所有物品ノ保管及使用並ニ消費上ノ適否ヲ檢閲セシムヘシ

前項ノ檢閲ハ定期及臨時ノ二種トス

第二十條　定期檢閲ハ毎年六月其ノ日時ヲ定メテ之ヲ行ヒ臨時檢閲ハ必要ニ應シ臨時之ヲ行フ

第廿一條　物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ事項左ノ如シ

一　物品保管方ノ適否

一　物品使用及消費ノ適否

一　物品亡失、毀損等ノ有無

一　帳簿ト現品トノ對照

第廿二條　物品檢閲ノ際ハ在庫品ニアリテハ物品會計官吏又ハ代理者使用中ノ物品ニアリテハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者立會シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第廿三條　物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認メタルトキハ帳簿ニ捺印シ若シ故障アリト認メタルトキハ該事實ニ就キ責任者ヨリ顚末書ヲ差出サシメ處分終ルヲ俟チ前記ノ手續ヲナスヘシ

第廿四條　物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況ヲ詳記シ學校長ニ

申報スヘシ

第五章　帳簿

第廿五條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ左記帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一　物品出納簿

一　證憑書類ニ基キ備品、消耗品ニ區分シ其ノ出納ヲ記入シ價格、納入等ヲ明カニス

一　備品內譯簿

命令文書ニ基キ在庫品及使用物品ヲ區分シ其ノ所在ヲ明カニス

一　物品請求及返付書

命令及受領ノ證印アル文書ヲ區分編纂シテ使用ニ供シタル物品ノ所在及其ノ責任者等ヲ明カニス

一　郵便切手受拂簿

郵便切手ノ受拂ヲ明カニス

第廿六條　各部物品監守者ハ備品監守簿ヲ備ヘ使用中ノ物品ノ現在ヲ明カニス

各部物品取扱主任者ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ受拂及物品ノ現在ヲ明カニスヘシ

第廿七條　帳簿樣式ハ昭和三年二月文部省訓令第一號用紙類標準規格規程ニ依リ調製スヘシ

但シ前項ノ規程ニナキモノハ別紙樣式ニ據ル

八　職員服務規程

一　教官ノ服務

第一條　本細則ニ於テ教官ト稱スルハ教授、助教授、講師、師範及備外國人教師ヲ包括ス

第二條　教官ハ教育事務ヲ擔任スヘシ

第三條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ學科主任及學級主任ノ事務ニ從事スヘシ

第四條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ分課事務ニ從事スヘシ

第五條　教官ハ學校長ノ命ヲ受ケタル場合ニ於テ入學者選拔試驗、高等科學力檢定試驗、其他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第六條　教官ハ教授、訓育其ノ他ノ事項ニツキ意見アルトキハ之ヲ學校長ニ具申

スヘシ

第七條　教官ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第八條　第十條乃至第二十一條ノ規定ハ之ヲ教官ノ服務ニ準用ス

二　事務員ノ服務

第九條　書記雇員及事務囑託ハ上司ノ指揮ヲ承ケテ分課事務ニ從事ス雇員ハ前項ノ外特別教室ニ勤務セシムルコトアルヘシ

第十條　事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキ又ハ所屬上官ヨリ特ニ命セラレタルトキハ執務時間外若クハ休日ト雖モ執務スヘシ

第十一條　疾病其他已ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スル者ハ當日執務時限前ニ事由ヲ具シ屆出ツヘシ

疾病ノ爲メ缺勤スルコト七日以上ニ渉ルトキハ屆書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十二條　執務時限中發病等ノタメ退出セントスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第十三條　父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ屆出ツヘシ

第十四條　親族ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クル者ハ其ノ親族關係ヲ記シ屆出ツヘシ

第十五條　轉地療養、父母ノ病氣看護、又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇セムトスル者ハ日限及行先ヲ記シ許可ヲ受クヘシ

第十六條　陸軍又ハ海軍ノ召集又ハ簡閱點呼ニ應スル者ハ日限及應召地、部隊、艦艇名等ヲ記シ出發前ニ屆出ツヘシ

第十七條　賜暇中旅行セントスル者ハ日限及旅行地ヲ記シ出發前ニ屆出ツヘシ

第十八條　出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ屆出テ且歸校後五日以內ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十九條　新任者ハ五日以內ニ住所ヲ屆出ツヘシ

住所ヲ移轉シ又ハ氏名、族籍ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度屆出ツヘシ

第二十條　官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其ノ都度屆出ツヘシ

第廿一條　轉任、免官、休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ

三　當直者ノ服務

第廿二條　當直勤務ハ事務當直及寮當直トス

第廿三條　生徒課勤務以外ノ書記、雇員及事務囑託ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ

生徒課勤務ノ判任教官（又ハ之ニ準スル者）、書記、雇員及事務囑託ハ輪番ヲ以テ寮當直ニ服スヘシ

第廿四條　生徒主事ハ必要ニ應シ臨時寮ニ當直スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ當直者ヲ除番ス

第廿五條　當直時間ハ平日ニ在リテハ執務時間ノ終ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限マテトシ休日ニ在リテハ執務時限ノ始ヨリ翌日ノ執務時限ノ始ニ相當スル時限マテトス

第廿六條　左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一　出張中、出張前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日

二　賜暇中

三　忌引中

四　疾病其他ノ事故ニ由ル缺勤中

五　新任者着任ノ日ヨリ七日間

六　以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ

第廿七條　事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

一　校舍各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト

二　校舍内外ノ取締ヲナスコト

三　接受シタル物件ヲ處理スルコト

四　火災ノ虞アル場所幷ニ器物ニ對シ特ニ注意スルコト

第廿八條　寮當直ハ寄宿寮ノ管理取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ執ルヘシ

第廿九條　當直者ハ勤務中學校ヲ離ル、コトヲ得ス

第三十條　當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得

第卅一條　當直中非常事故アルトキハ之ヲ學校長ニ急告シ且臨機ノ處置ヲナスヘシ

第卅二條　當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課長寮當直ニ在リテハ生徒課長之ヲ定ムヘシ

四　學校醫ノ服務

第卅三條　學校醫ハ左ノ事務ヲ擔任ス

一　學校衞生ニ關スルコト

二　生徒ノ疾病治療ニ關スルコト

三　身體檢查及身體檢查票ニ關スルコト

四　寄宿寮附屬室ノ整理ニ關スルコト

五　生徒ノ病類別患者月表及年表ヲ調製シ月表ハ翌月五日年表ハ次年度四月十五日限リ之ヲ學校長ニ差出スコト

第卅四條　學校醫ハ所定ノ日時ニ出校執務スヘシ但シ必要アルトキハ臨時出校執務スヘキモノトス

第卅五條　疾病其他已ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スルトキハ相當ノ代人ヲ出校セシムヘシ此場合ニ於テハ其ノ氏名ヲ屆出ツルモノトス

第卅六條　學校醫ハ衞生上必要ト認メタル事項ニツキ學校長ニ具申スヘシ

九　圖書規程

第一章　總則

第一條　本校所有ノ圖書ハ總テ之ヲ書庫ニ藏ス

第二條　書庫ニハ本校所有ノモノ、外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

第三條　教務及事務上特ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得

第四條　圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員、舊職員、生徒並ニ第二條ノ圖書委託者其ノ他學校長ノ特許ヲ得タルモノニ限ル

第五條　本校職員ハ學校長ノ定ムル所ニヨリ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第二章　貸出

第六條　各學科主任ハ參考上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ教官室、職員閱覽室及各特別教室ニ備付ケ該科教官ノ共用ニ供スルコトヲ得

第七條　各課ニ於テハ事務上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ事務室ニ備付ケ該課事務員ノ共用ニ供スルコトヲ得

第八條　貴重圖書、辭書類並ニ閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書ハ總テ借出スコトヲ得ス同一ノ圖書ハ一部ノ外借用スルコトヲ得ス

第九條　本校職員ニシテ圖書ヲ借出サントスル者ハ自ラ圖書課ニ就キ所定ノ用紙

ニ著者名、書名、冊數、番號、氏名、貸出年月日等ヲ明記シ捺印ノ上課員ニ差出スヘシ

第十條　教官ニ於テ必要ヲ認メ夏期、冬期、春期休業期間中生徒ニ圖書ヲ借出サシムル時ハ當該教官ノ記名調印ヲ要ス

第十一條　借出シタル圖書ハ凡テ他人ニ轉貸スヘカラス

第十二條　借出ノ圖書使用終ラハ速カニ返納スヘキハ勿論毎年七月五日迄ニ悉皆之ヲ返納スヘシ尤モ時宜ニヨリ臨時返納セシムルコトアルヘシ又生徒退學若クハ休學セントスル時ハ出願前悉ク之ヲ返納スヘシ

第十三條　凡テ借出シタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若クハ紛失シタル時ハ速カニ其ノ事由ヲ具シ圖書課ニ屆出ツヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責ヲ負フヘキモノトス

第三章　閱覽

第十四條　閱覽室ハ職員閱覽室及生徒閱覽室ノ二區ニ分ツ

第十五條　職員閱覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校職員、舊職員幷ニ特ニ學校長ノ許可ヲ得タルモノニ限ル

第十六條　生徒閱覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校生徒ニ限ル

第十七條　生徒圖書ヲ閱覽セントスル時ハ目錄ニ就キ其ノ書圖ヲ檢出シ所定ノ用紙ニ著者名、書名、冊數、番號、年級、氏名ヲ記入シ課員ニ差出シテ之ヲ借受ケ閱覽終ラハ直ニ返納スヘシ

第十八條　閱覽室開閉時限ハ隨時之ヲ告示ス

第十九條　圖書閱覽室ノ閉鎖日ハ左ノ如シ

一　本校所定ノ休日

一　本校臨時休業日

第二十條　閱覽者ハ左ノ各項ヲ守ルヘシ

一　服裝ヲ正スヘシ

二　借受ケタル圖書ハ之ヲ閱覽室外ニ携出スヘカラス

三　借受ケタル圖書ハ之ヲ他人ニ轉貸スヘカラス

四　靜肅ヲ旨トスヘシ

五　喫煙スヘカラス

第廿一條　凡テ借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若シクハ紛失シ

タル時ハ速ニ課員ニ屆出ヅヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責ヲ負フヘキモノトス

第廿二條　圖書ノ種類ニヨリテハ閲覽ヲ禁スルコトアルヘシ

第四章　雜

第廿三條　圖書ノ寄贈又ハ保管ヲ委託セントスル者アル時ハ學校長之カ受否ヲ決定ス

但シ不慮ノ災難ニヨリテ委託圖書ノ損亡ヲ來スコトアルモ本校ハ辨償ノ責ニ任セサルモノトス

事務當直心得

第一條　當直者ハ勤務ノ始メ左ノ物件ヲ庶務課ヨリ受取リ勤務ノ終ニ之ヲ同課ニ返付スヘシ

一　當直名簿
二　當直日誌
三　職員住所錄
四　文書送付簿
五　電信用語符號表
六　郵便切手及端書
七　郵便切手受拂簿
八　生徒宿所錄

第二條　宿直中ニ到達シタル文書及發送スヘキ文書ハ假ニ收受、發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ之ヲ引續クヘシ翌日休日ナルトキハ交代ノ者ニ引繼クヘシ

第三條　收受シタル文書中、學校長宛ノ親展電報並至急親展文書ハ直ニ之ヲ學校長ニ送達シ學校長又ハ學校宛ノ電報並至急文書ハ直ニ之ヲ庶務課長ニ送達スヘシ但シ電報ニハ電信用語符號表ヲ添フルヲ要ス

第四條　宿直中郵便物ヲ發送シタルトキハ宛名、差出人名、件名、使用切手ノ種類、量目及金高、電報ノ場合ハ字數、金高ヲ郵便切手受拂簿ニ記入スヘシ

第五條　宿直日誌ニ記載スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一　月日曜
二　天候及氣溫
三　當直職員官氏名並巡視及小使當直者氏名
四　收受郵便物ノ種類及件數
五　來校者氏名並用件
六　受付タル電話並用件

七　其他當直中ニ起リタル事件ノ顚末

第六條　當直者ハ日沒後少クトモ二回校舍内外ヲ巡視シ且適宜傭人ヲ指揮シテ巡視セシムヘシ

第六職員

學校長　西川順之　栃木

教授

獨語　評議員　西澤富則　長野

數學　評議員　大橋五郎　福島

物理　評議員　登石善二　大阪

化學　評議員　原田禮一　岡山

英語　評議員　米原弘　島根

獨語　評議員　市來義彦　鹿兒島

國語　評議員　生徒主事　白石勉　愛媛

英語　評議員　陸軍歩兵少尉　鳥井匡　熊本

漢文　澤野章之助　岐阜

歷史　藤田福太郎　東京

英語　阿部孝　岩手

漢文　富田健助　栃木

修身　池浦孝忍　愛知

地質及鑛物、地理　山内信雄　京都

數學　五十嵐知雄　新潟

國語　小倉正大　大分

圖畫　村上照造　奈良

心理、修身　岡本重雄　東京

哲學、修身　米倉守　岡山

歷史　中山節郎　山口

英語　吉川進　高知

物理　篠崎長之　栃木

獨語　古川充二　佐賀
動物　蒲原稔治　高知
法制經濟　鹽尻公明　岡山
修身　志岐愛明　福岡
化學　伊勢村壽三　大阪

生徒主事　白石勉愛機

（兼）教授　山内信雄　京都
（兼）教授　米倉守　福岡
（兼）教授　志岐愛明　福岡

配屬將校　陸軍歩兵少佐　河崎思郎　石川

教練　鹽谷寛　滋賀
助教授　石山熊彦　高知

獨語　浮田壽男　岡山
劍道　講師　陸軍歩兵特務曹長　中岡延永　高知

柔道　吉永虎馬　高知
教練　牧ケ野教信　岐阜
植物　陸軍騎兵曹長　五百歳正寛　高知
圖畫　河内二郎　岡山
弓道　飯干強　宮崎
心理　櫻井國隆　新潟
体操　ドクター●アレキサンダー●コンラデイ　獨逸人
獨語　シドニー●ハーリ●バツテイ●スミス　英國人

傭外國人教師

獨語　收入官吏　和泉陳平　東京
英語　物品會計官吏　山崎正巍　高知

書記

生徒主事補

囑託

雇

本山隆明　東京
間崎輝之助　高知
安岡良龜　高知
陸軍歩兵少尉　小川英一　高知
久保武哉　鹿兒島
陸軍歩兵特務曹長　杉田登利　高知
吉岡武馬　高知
陸軍歩兵特務曹長　原實登　高知
田中實馬　高知
岡林傳　高知
陸軍歩兵軍曹　藤田昇　高知
藤田植吉　高知

學校醫

學級主任

文科第一學年甲一ノ組　前田浩　高知
文科第一學年甲二ノ組　中西六郎　高知
文科第一學年　乙　組　山本英雄　高知
文科第二學年甲一ノ組　堀内千鶴子　高知
文科第二學年甲二ノ組　千光士源吉　高知
文科第二學年　乙　組　吉村敏　島根

教授　澤野章之助　岸本道夫　福岡
教授　富田健助
助教授　鹽谷寬
教授　藤田福太郎
教授　小倉正
教授　池浦孝忍

文科第三學年甲一ノ組　教授　阿部孝
文科第三學年甲二ノ組　教授　中山節郎
文科第三學年乙組　教授　西澤富則
理科第一學年甲組　教授　吉川進
理科第一學年乙組　教授　尻公明
理科第二學年甲組　教授　五十嵐知雄
理科第二學年乙組　教授　登石善二
理科第三學年甲組　教授　村上照造
理科第三學年乙組　教授　原田禮一

學科主任

第一學科　教授　池浦孝忍
第二學科　教授　白石勉
第三學科　教授　藤田福太郎
第四學科　教授　尻公明
第五學科　教授　米原弘

第六學科　教授　西澤富則
第七學科　教授　大橋五郎
第八學科　教授　登石善二
第九學科　教授　原田禮一
第十學科　教授　山内信雄
第十一學科　教授　村上照造
第十二學科　講師　飯干強

事務分掌

教務課

課長　生徒課主事兼教授　白石勉

勤務　教授　大橋五郎
教授　岡本重雄
書記　山崎正巍
囑託　杉田登利

課長

課長　庶務課

課長　圖書課

教授兼生徒主事　山內信雄
教授兼生徒主事　米倉守
教授兼生徒主事　志岐愛明
生徒主事補　久武保哉
講師　中岡延次
講師　飯干強
屬　原實登
屬　藤田植吉
屬　吉村敏
（兼）教授　大橋五郎
書記　本山隆明
囑託　杉田登利
教授　米原弘

課長　會計課

主任　和泉陳平
書記　間崎輝之助
書記　小川英一
屬　田中實馬
屬　岡林傳
屬　堀內千鶴子
囑託　吉岡武馬

課長　物理學教室

書記　安岡良龜
屬　藤田昇
屬　千光士源吉
書記　和泉陳平
書記　間崎輝之助
書記　小川英一
屬　田中實馬
屬　岡林傳
屬　堀內千鶴子
囑託　吉岡武馬
教授　登石善二
教授　篠崎長之
屬　山本英雄

化學教室

動物、植物及地質、鑛物學教室

第七前職員

職員

官職	就任年月	轉退年月	摘要	氏名	原籍
講師	大正十二、四	大正十二、五	解嘱	近藤駿介	長崎
講師	大正十二、四	大正十二、八	解嘱	梅津芳三	岩手
校長	大正十一、十九	大正十二、十二	死亡	江部淳夫	新潟
教授	大正十二、三	大正十三、三	轉任	野間眞綱	鹿兒島
教授	大正十二、四	大正十三、三	解嘱	山内信雄	
教授	大正十二、四	大正十三、三	解嘱	蒲原稔治	
雇	大正十二、四	大正十三、三	解雇	中西六郎	
教授	大正十二、四	大正十三、三	轉任	原田禮一	
教授	大正十二、四	大正十三、三	轉任	伊勢村壽三	
雇	大正十二、四	大正十三、三	解雇	前田浩	

官職	就任年月	轉退年月	摘要	氏名	原籍
講師	大正九、十一	大正十三、四	解嘱	大金益次郎	栃木
書記	大正十一、十一	大正十三、四	死亡	小山三千三	長野
校醫	大正十二、四	大正十三、四	解嘱	武田鹿雄	高知
教授	大正十二、一	大正十三、六	轉任	和田康之助	福岡
助手	大正十三、四	大正十三、八	解雇	岡林曠	高知
教授	大正十二、三	大正十三、八	退官	岩崎孫八	岡山
講師	大正十二、三	大正十三、八	解嘱	土井唯次郎	廣島
教授	大正十一、十二	大正十三、十	轉任	鈴木卓苗	岩手
教授	大正十二、四	大正十四、一	轉任	西田正一	廣島
雇	大正十三、一	大正十四、二	轉任	竹田鏡二郎	新潟
書記	大正十二、三	大正十四、二	解雇	山崎茂樹	高知
傭外國人教師	大正十三、四	大正十四、三	解傭	フリツツ・エス・ブラツシュ	獨逸
講師	大正十二、三	大正十四、三	解嘱	大新田勝海	大分
教授	大正十二、三	大正十四、三	退官	加藤盛一	廣島
教授	大正十二、三	大正十四、五	轉任	甲斐三郎	東京

雇	大正十二、二	大正十四、六	轉任	堅田武治 高知
教授	大正十二、四	大正十四、十一	退官	志水義暲 熊本
教授	大正十三、三	大正十四、十二	退官	三宅幾三郎 兵庫
助手	大正十四、四	大正十五、三	解雇	胎中豐五郎 高知
囑託	大正十四、十	大正十五、三	解囑	桑原良樹 高知
助手	大正十三、四	大正十五、三	解雇	德久勝 高知
教授	大正十四、三	大正十五、三	退官	三並虎一郎 愛媛
教授	大正十二、三	大正十五、四	轉任	金子光介 福井
教授	大正十三、五	大正十五、五	轉任	上石保教 兵庫
雇	大正十五、三	大正十五、五	解雇	佐竹堅吉 高知
講師	大正十三、八	大正十五、五	解囑	東吉太郎 高知
囑託	大正十五、四	大正十五、九	解囑	野村岩龜 高知
雇	大正十四、四	大正十五、十	解雇	櫻井武仁 長野
雇	大正十五、三	昭和二、一	解雇	森木惠 高知
書記	大正十二、一	昭和二、三	退官	藤村哲彥 高知

配屬將校	大正十四、四	昭和二、三	轉補	細木橘 高知
助手	大正十五、三	昭和二、三	解雇	町田實 高知
雇	昭和二、三	昭和二、三	解雇	中村忠六 高知
校長	大正十三、二	昭和二、四	退官	內藤馬藏 岡山
講師	大正十四、五	昭和二、六	解囑	河那部吉雄 富山
講師	大正十四、四	昭和二、八	解囑	莊直一 岡山
教授	大正十四、三	昭和二、十	轉任	淺井綱雄 愛媛
雇	大正十三、一	昭和三、一	死亡	杉谷清澄 高知
教授	大正十二、三	昭和三、三	死亡	赤松邦太郎 兵庫
傭外國人教師	大正十四、四	昭和三、三	解傭	ヤコブ●ゲ●ボオネル 獨逸
雇	昭和二、四	昭和三、四	解雇	西村友吉 高知
傭外國人教師	大正十四、四	昭和三、七	解傭	バッテイ●スミス 英國
配屬將校	昭和二、三	昭和三、八	轉補	足立順市 兵庫
教授	大正十四、七	昭和三、八	退官	松岡義和 東京
雇	昭和二、三	昭和四、三	解雇	小松鐵喜 高知

雇	昭和三、六	昭和四、三	高知	羽山直定
雇	昭和三、五	昭和四、三	高知	多田綿緒
雇	昭和四、三	昭和四、四	高知	岡村萬
教授	大正十三、四	昭和四、五	埼玉	崎祐存
雇	昭和三、四	昭和五、三	東京	小松泰馬
教授	大正十三、六	昭和五、三	京都	永憲一
教授	大正十五、三	昭和五、三	兵庫	塚本義之
教授	昭和三、九	昭和五、三	岡山	河内二郎
助教授	昭和五、三	昭和五、五	高知	窪田博
囑託	昭和二、五	昭和五、五	高知	藤村哲彦
校醫	大正十三、四	昭和五、八	高知	森木博喜
雇	昭和二、四	昭和五、十二	高知	大野壽惠子
配屬將校	昭和二、三	昭和五、十二	山口	熊本克己
教授	昭和四、十一	昭和六、三	北海道	梶沼甫
傭外國人教師	昭和三、四	昭和六、三	獨逸	マックス・ヴエーデル

解雇	昭和三	昭和六、三	高知	林佐源次
轉任	昭和二、四	昭和六、三	長崎	高尾國男
解囑	大正十二、三	昭和六、四	福岡	堀江水
解雇	昭和四	昭和六、四	高知	井清
解囑	昭和四	昭和六、四	岐阜	

第八生徒

一生徒氏名

昭和六年六月十日現在

文科三年甲類一組　三十三人

畫誠	伊藤幾久雄	東京	安藝	今西五郎	高知
第二神戸	内田平八郎	愛知	總島	梅本敬二	總島
京都第二	大塚一也	愛知	城東	大西正助	高知
脇町	川人茂市	德島	大分	河野健三	大分
城北	倉本幸治	高知	海南	小松貢	高知
堺	上野一郎	大阪			
麻布	太田馨	愛知			
城東	川澤宗一	高知			
高津	公文茂治	高知			
城東	眞明俱雄	高知			

備考（氏名ノ上ハ出身學校名氏名ノ下ハ原籍府縣名ナリ）

城東 隅田 健彦 高知　宇都宮 田中 五郎 京都　城東 田村 眞一 高知
高津 竹内 照藏 兵庫　安藝 竹崎 剛 高知　諏訪 土橋 芳數 長野
中村 土居 傳 高知　城北 野村大三郎 高知　海南 濱川 利城 高知
城北 平井 勇 高知　京城 藤田 正男 高知　市岡 保壽 重博 大阪
志摩水產 松岡喜代志 三重　城東 松田 源一 高知　城東 安岡 登志 高知
城北 柳瀨 益豐 高知　天理 吉井 武繁 愛媛　松江 吉田 運一 島根

文科三年甲類二組

三十九人

第二神戸 阿部 才三 熊本　高津 有川 一郎 滋賀　諸所 伊藤 一郎 京都
城東 伊與木茂美 高知　西條 石田今朝夫 愛媛　宗像 石松 盤根 福岡
安藝 宇田 俊平 高知　吉田 江湖山恒明 愛媛　伊都 奥原 可也 岡山
東京高師附屬 掛谷力太郎 廣島　第二神戸 柏木 希一 兵庫　和歌山 金田宇多夫 和歌山
第三神戸 黑田 二郎 兵庫　西條 小西 貫一 愛媛　城東 小松 武四 高知
城東 佐々木榮三郎 高知　海南 佐竹 俊男 高知　城東 齋藤 誠 奈良
大連第一 酒井 欽郎 東京　甲陽 塩見悅太郎 兵庫　城北 島崎銳次郎 高知
城北 須藤 信雄 高知　京都第一 瀨木 忠夫 京都　平安 田中 良三 京都

城北 谷淵 梅龜 高知　城北 千頭 正 高知　東京第六 戸澤 芳郎 東京
廣島第二 中川 肇 廣島　城東 東村 正夫 高知　高知師範 福田 義郎 高知
海南 細川 竹男 高知　第二神戸 松島 英夫 兵庫　城北 御莊 直 高知
城東 村井 次郎 高知　生野 村瀨 信一 大阪　土佐 森下 巖 高知
城北 森田 博彥 高知　旅順第一 安岡 正文 高知　天理 山田 廣海 奈良

文科三年乙類

三十三人

第二神戸 井上 武延 兵庫　靜岡 飯田 修二 靜岡　安藝 石建 松夫 高知
安藝 遠藤 武雄 福島　城東 尾立 一郎 高知　安藝 岡本 正光 高知
城東 岸上 榮松 高知　高津 北浦 邦一 大阪　城東 清藤 俊章 高知
城北 久保田義夫 高知　土佐 久文 忠雄 高知　熊谷 高野 常二 埼玉
熊谷 近藤 清次 埼玉　土佐 近藤久壽治 高知　第二鹿兒島 末久 正道 高知
第二東京市立 高橋 義孝 東京　城東 瀨石 豐稻 高知　丸龜 蔦川 愛城 香川
城東 永野 正夫 高知　宇和島 二宮 眞澄 愛媛　北野 西川伊之助 大阪
城東 野島 賀明 高知　城北 馬場 俊喜 高知　平壤 原田 一隆 大分
土佐 久永榮一郎 高知　吉田 兵頭 俊彥 愛媛　城北 深瀨 晃 高知

平壤 福田 篤二 長崎
大阪桃山 宮內義三郎 愛媛

理科三年甲類 三十八人

成城 秋山 二郎 東京
城東 上田 滋 高知
日高 北野泰次郎 和歌山
城北 桑原 正司 高知
富岡 佐木山又男 德島
見付 鈴木誠次郎 靜岡
池田 谷 幹彥 德島
土佐 西本 禎夫 高知
甲陽 藤田 忠人 栃木
高津 森 亮 大阪
土佐 矢田 一 島根
土佐 山本 大和 高知

海南 町田 尙友 高知
富田林 森田 正文 大阪

高知工業 井上友一郎 高知
中村 植田 穗積 高知
城東 北村 幸藏 高知
栃木 小島 忠久 栃木
城東 佐野 孝雄 高知
城東 田內 俊 高知
大連第一 津田 忠雄 京都
城北 野村 種吉 高知
城東 松木 健一 高知
安藝 森澤 正人 高知
城東 山崎重一郎 高知
海南 山本 季夫 高知

堺 溝淵 龍也 大阪
關西學院 山崎 次昭 京都

土佐 池 三郎 高知
城東 大西 英郎 高知
安藝 久保 賢一 高知
城東 小林健三郎 高知
城東 島崎 隆三 高知
池田 武田 貴美 德島
城北 西內茂理次 高知
伊都 平林 俊一 和歌山
城東 宮地 利春 高知
土佐 森下 正明 高知
城北 山崎 正盈 高知
城東 橫山 治彥 高知

城東 吉村二三雄 高知

理科三年乙類 三十三人

城北 朝田 直猪 高知
豐津 市川 弘文 福岡
名古屋 大竹 正之 岐阜
城北 公文 幸雄 高知
城北 佐野 一良 高知
富岡 中山 次郎 德島
城東 西村光之助 高知
城北 野口 茂久 高知
城北 久 正男 高知
日高 宮崎 卓爾 和歌山
城北 森本 幸男 高知

文科二年甲類一組 三十七人

土佐 井上 淸 高知

市岡 井上 尙美 山口
志太 入交 忠雄 高知
撫養 木村 孝夫 德島
城北 黑瀨 正敏 高知
城東 島村 雅從 高知
中津 中山 正義 福岡
東京第六 西山 實光 高知
城北 野中 傳 高知
城北 堀 芳雄 靑森
城東 村松 謹二 群馬
東 山脇 正人 高知

長崎 市川富士雄 長崎

土佐 板垣 正亮 高知
城東 宇賀 勇男 高知
城東 吉良 良吉 高知
熊本 桑原五八郎 熊本
城北 杉本 肇 高知
城東 西內 大六 高知
北野 野木 一雄 京都
靜岡 蓮實 重則 栃木
土佐 宮崎 太郎 高知
城東 森本 正浩 高知
徽文高等普通 李 昌根 朝鮮

志太 入交 正虎 高知

城北 岡村 忠雄 高知　明倫 岡山 丑雄 東京　富岡 嘉戸 弘 德島
城北 川田 哲幸 高知　城北 上岡爲太郎 高知　西條 黒川 元彦 愛媛
城北 五藤 豪 高知　城東 小松 巖 高知　堺 甲田 博史 大阪
刈谷 佐藤 英一 愛知　安藝 笹原 邦彦 福岡　北野 新庄 健次 長崎
千葉 關口 攀 千葉　城北 多田 貞資 高知　高知工業 竹崎 一 高知
鳳鳴 戸出 良二 兵庫　城東 永野金一郎 高知　城東 西山 榮一 高知
高知商業 野村 稻實 高知　成城 樋口 津大分　小倉 久光 嘉夫 福岡
加治木 前田鶴太郎 鹿兒島　高松 松平 博 香川　安藝 松本大七郎 高知
大連第一 水野庸太郎 高知　岐阜 武藤 和夫 岐阜　明倫 森 秀彌 高知
土佐 山泉鍊太郎 愛媛　城北 山崎 哲郎 高知　姬路 山田 正夫 兵庫
土佐 山中 榮造 高知　第三神戸 山本 孝次 兵庫　城東 行弘 文藏 高知
撫養 米里 正明 德島

文科二年甲類二組

三十七人

市岡 石谷 正雄 高知　郡山 石崎 直史 奈良　小倉 植田 忠夫 高知
城東 衣斐 正道 高知　第二神戸 江見 康夫 岡山　城東 小野 長雄 高知

第一東京 岡林 正一 高知　桃山 岡本 定一 岡山　北豫 奥島 龍雄 愛媛
甲陽 香川 正一 香川　城東 久保内丈夫 高知　第三神戸 兒玉次郎太 兵庫
小野 佐伯 忠義 兵庫　田邊 佐武 文彰 和歌山　靜岡 澤野 太郎 靜岡
大連第一 志賀 邦雄 佐賀　海南 島田 全 高知　東山學院 下田 德幸 長崎
城東 下元 隆 高知　城東 杉本 正道 高知　城北 多田 勳 高知
小豆島 高木 正義 香川　修猷館 高山 忠雄 東京　德島 谷原 長生 德島
甲陽 中地 棟造 和歌山　第三神戸 中山 隆夫 三重　德島 長尾 孫夫 德島
北野 永田 俊一 鹿兒島　閑谷 西岡 侃一 岡山　城東 西山 彰雄 高知
北野 平松 龍英 大阪　平壤 松本 良一 高知　德島 美馬 清行 德島
城東 村上 清夫 高知　城北 森澤 久茂 高知　麻植 森山 正也 島根
桃山 山口 輝夫 德島

文科二年乙類

三十九人

千葉 尹禮 鉉 朝鮮　城北 宇田 昶郎 高知　城東 植田 豐志 高知
攻玉社 大石 兼敏 鹿兒島　松山 大橋 雅郎 福島　中村 岡村 景迪 高知
北野 岡村 新一 高知　堺 奥田 茂 大阪　丸龜 香川 通夫 香川

大川鐮田茂香川　城東鐮田尭次郎高知　城東川島哲郎高知
城東川添賢治高知　三田國本忠兵庫　横濱第三佐伯英夫神奈川
城東三宮愼助高知　城東塩見精一高知　城北多田憲高知
城東東高橋幸雄高知　磐城長瀬晴雄長野
洲本仲野一郎兵庫　城北中平榮利高知　城東中山清年高知
士佐野中幸治高知　城北濱川茂兵衛高知　士佐濱田麟一高知
大通第一日高修鹿兒島　北野不二樹二郎大阪　高津藤井宗次大阪
城北前田章高知　東京第四松崎義人佐賀　京都第一水口猪久夫高知
城北宮地厚三高知　城東森川金壽高知　安藝山崎修高知
京都第二山本良一京都　海南依岡健一郎高知　富岡渡盈夫廣島

理科二年甲類　三十九人

七尾赤倉憲三石川　天王寺淺田俊一大阪　第一神戸淺野左乙兵庫
城北大塚肇高知　城東大橋壽郎福島　新宮大峯義一和歌山
城北岡宗重久高知　大津商業奥村正二滋賀　神奈川第三忍足壽郎神奈川
奈良加藤清岐阜　城東門田正臣高知　城東北岡寅太郎高知

郡山桐山眞德奈良　士佐公文公高知　安藝近藤太高知
多度津齋藤一雄香川　京都第一向坂正滋賀　三豐清水義雄香川
長崎塩谷勝喜長崎　城東澁谷英寅東京　士佐島本嘉年高知
小野須磨毅兵庫　市岡田中健一郎大阪　海南田内永茂高知
高津竹内良一大阪　城北近森英男高知　市岡塚本正信大阪
士佐長崎治道高知　高松細谷一雄香川　海南町田尙久高知
甲陽水田泰明高知　城北南敬助高知　宇和島村上正介愛媛
城北毛利正登廣島　城東目代涉高知　富岡山田史郎德島
岩國横田庄一山口　池田吉岡英文德島　城東吉川鹹高知

理科二年乙類　四十八人

城東秋山京夫高知　城北淺井政敏高知　吉田井關憲一愛媛
安藝池田伊三郎高知　第一神戸一藤正人兵庫　成東大多和壽一千葉
城北岡江顯一高知　城東北代一實高知　北野國吉博一大阪
海南近藤昇高知　東京高師附屬佐藤恒信東京　崇德品川一夫廣島
大分柴田精郎大分　士佐瀨戸正高知　大田原關康之福島

安藝　仙頭　金平　高知　總島　田中　剛三　福岡　第二神戸　高木　將雄　長野
城北　竹島　廣　高知　城東　武内　一郎　高知　脇町　谷　幸雄　德島
新潟　中島　正雄　新潟　北野　中村周吉郎　京都　沖繩第一　新垣　正治　沖繩
豐中　橋本　健一　大阪　城東　濱田　俊景　高知　富岡　藤岡　進　德島
大洲　藤本平四郎　愛媛　城東　傍士　昭　高知　嘉穗　馬屋原大輔　廣島
城北　松下　鶴彌　高知　撫養　三谷日出雄　德島　城北　宮崎　延男　高知
城東　安原　正幸　高知　小倉　山村　正英　福岡　京都第二　吉田禎一郎　京都
瓊浦　吉田　繁滿　廣島　城東　吉本　榮枝　高知　堺　吉本　富雄　大阪
城東　吉本　豐直　高知　城北　川窪　眞澄　高知　天理　木下　勳　奈良
九州學院　吉良　一雄　熊本　杵築　工藤　俊一　大分　城東　元鳳　玨　朝鮮

文科一年甲類一組

四十人

土佐　安藝　勉　高知　杵築　秋吉　武城　大分　南筑　井上　五郎　福岡
安藝　伊吹　三雄　高知　土佐　小笠原義和　高知　城東　岡林　秀起　高知
天理　岡村道三郎　高知　城東　片岡　薰　高知　第一東京　金子　四郎　千葉
城北　川窪　眞澄　高知　天理　木下　勳　奈良　城北　岸　博　高知
九州學院　吉良　一雄　熊本　杵築　工藤　俊一　大分　城東　元鳳　玨　朝鮮

岩國　米安　好人　山口　埼玉商業　近藤　正次　埼玉　甲陽　清水　雅男　大阪
城北　田中　光次　佐賀　高知商業　竹村　禮三　高知　大田　千代延　茂　島根
杵築　豐田　親德　大分　一宮實業　中村　一馬　千葉　海部　長篠　義臣　德島
新宮　中島　勉　和歌山　大垣　新川　次郎　岐阜　高千穗　花井源一郎　東京
城東　東元善次郎　高知　大田　福富　輝正　島根　城東　藤原　正幸　高知
北野　堀　正基　大阪　北野　森　信成　大阪　長府　守田　元夫　熊本
京都桃山　山鹿　俊一　京都　城東　山本　博哉　高知　城東　横川　武　高知
東京第四　横山　隆正　東京　第二神戸　和田　啓　兵庫　第二神戸　若林　眞次　鹿兒島
高津　渡邊　隆次　大阪

文科一年甲類二組

四十人

武生　相木　嘉春　福井　第一東京　秋田　正　東京　德島　新井　正　德島
城東　井上　正三　高知　撫養　潮　洗　德島　今宮　上殿　勝見　大阪
第二鹿兒島　上原　英美　山梨　宇和島　岡本　俊雄　愛媛　釜山　大串　俊郎　長崎
城東　川崎福之輔　高知　城東　上村　鎭威　高知　九州學院　久保　實　熊本
城東　小松　廣　高知　堺　阪井　一郎　大阪　東京第六　佐島　守夫　山形

松山佐伯英二愛媛
三豐塩田安造香川
城東白石譽夫高知
城東富田仝一高知
大社錦織透島根
高松濱川茂樹香川
疆山誠之舘平井輝男岡山
第二神戸前田活男兵庫
專檢依岡一郎高知

文科一年乙類

四十人

北野新居秀彦東京
德島市橋寬德島
中津大新田正人大分
園部胡大春台灣
池田黑岩胤之高知

掛川安間忠一靜岡
佐世保市原直孝高知
長野包國義一高知
浮羽限本九矢郎福岡
北小松幸次郎高知

城東芝崎健郎高知
津常保宏一三重
城東土居重俊高知
富田林西邦一大阪
城東森田謙一郎大阪

土佐池澄高知
高合植田馬之助高知
福山誠之舘河相武廣島
高知師範公文廣嗣高知
岸和田里井陸郎大阪

今宮城謙介愛媛
京城仙波宏愛媛
海南高田登高知
購所竹內逞滋賀
城北濱川金兵衛高知
高松村上尙治香川
杵築諸富來大分
甲陽山崎貫治石川
城北吉岡俊夫佐賀

理科一年甲類

四十人

城北小澤潤次郎神奈川
城東川田武高知
城北北村譽猪高知
郡山小中義香奈良
東京第六志賀信之東京

花園上甲正繁愛媛
城北大家金三郎高知
城東高松巖高知
城東高塚本芳夫愛知
城北濱川金兵衛圭二廣島
城北森本俊男高知
城東矢野修二郎高知
南山本誠志高知

叡山鈴木重信愛媛
城北高崎昌信高知
城北武井正美高知
城北橋本善介高知
山口眞野敏夫滋賀
城東森本治世高知
海南矢野正顯高知
士佐山脇節人高知

城北岡崎賢一高知
士佐川田茂高知
城北公文勝巳高知
城北村譽猪高知
郡山小中義香奈良
第二神戸鹿野幸彥島根

城東岡林尹夫高知
生野北川則敏大阪
修道後藤洋六大分
村上近和雄新潟
安藝重山濱高知

城東　十万　武義　高知　北野　白川　準三　長崎　土佐　高橋壽惠喜　高知
京都桃山　高柳　正男　石川　城東　竹林　茂　高知　今宮　富川健次郎　大阪
城北　中平　桂　高知　城北　南部　清士　高知　高梁　西　近三　岡山
城東　橋本　寛兒　高知　耐久　東　祐次　和歌山　住吉　平島日出正　岡山
高津　藤本富太郎　大阪　同志社　瓶子　信　福島　城北　細井　禾苗　高知
城東　松田　桃作　高知　城東　前島　俊壽　大阪　城東　南　又雄　高知
明石　宮尾賢次郎　兵庫　大野　森　良尙　福井　城北　安岡　美夫　高知
土佐　安岡　善則　高知　城東　山本二勢松　高知　茨木　吉川平四郎　大阪
同志社　林　合成　台灣

理科一年乙類　四十人

撫養　小橋　正　德島　城東　岡村　一雄　高知　柏原　荻野久五郎　兵庫
豐中　音田　正夫　大阪　城東　大池　尙　長野　若松　大村　明　福岡
京都第一　太田　隆　京都　大阪桃山　川本　敏　愛知　伊都　北村　四郎　和歌山
浪速　許　琦玉　朝鮮　土佐　黑川　武夫　高知　城北　下司　孝麿　高知
修猷舘　佐々木　節　島根　高知工業　酒枝亥一郎　高知　城北　澤村　良高　高知

住吉　柴谷　利治　大阪　本鄉　島村　彥猪　東京　城北　島本　光顯　高知
城北　島本　睦雄　高知　德島　住友　文治　德島　城東　竹內　喜英　高知
甲陽　高島平三郎　兵庫　高松　橘　祐彥　香川　瓊浦　朝長　守　長崎
土佐　長尾　景二　高知　瓊浦　野口　弘　長崎　土佐　秦　親明　高知
城北　秦　親公　高知　瀧川　原　忠人　兵庫　城北　廣田　穰二　高知
城東　廣松　茂　高知　安藝　松岡　巖　高知　城北　宮本　孝男　高知
青森　村上　愛一　高知　城北　安岡　隆一　高知　洲本　山岸　治郎　長野
土佐　山崎　曉　高知　倉吉　山本　忠雄　鳥取　城北　橫田　潤　高知
高津　岡　節夫　大阪

二　生徒本籍府縣別表

昭和五年六月十日現在

種別 ＼ 府縣名	東京	北海道
文科一年　甲類	四	
文科一年　乙類	一	
文科二年　甲類	二	
文科二年　乙類		
文科三年　甲類	三	
文科三年　乙類	一	
計	一二	
理科一年　甲類		
理科一年　甲類　イ	一	
理科一年　甲類　ロ		
理科一年　乙類	一	
理科一年　乙類　イ		
理科一年　乙類　ロ		
理科二年　甲類	一	
理科二年　乙類	一	
理科三年　甲類	一	
理科三年　乙類		
計	五	
合計	一六	

京都	大阪	神奈川	兵庫	長崎	新潟	埼玉	群馬	千葉	茨城	栃木	奈良
二	八		三	一		一		二	一		一
	一										
	二		五	三				一			一
一	三	一	二		一						
四	三		五								二
一	四		一	一		二					
八	二	一	一六	五	一	三		三	一		四
	一		一								
	四	一		一	一						一
	三			二							
	四	一	二	一							一
	三		一		一			一			
	一									二	
							一			一	
五	一六	二	七	四	二		一	一		三	二
一三	三七	三	二三	九	三	三	一	四	一	三	六

三重	愛知	靜岡	山梨	滋賀	岐阜	長野	福島	宮城	岩手	青森	山形
一			二		一			一			一
	一	一		二							
一	一	一			一						
						一	一				
一	三			一		一					
		一					一				
三	五	三	二	三	二	二	一二	一			一
							一				
	一					二				一	
				二	一		一				
							一				
		一			一					一	
	一	一		二	二	二	三	一		二	二
三	六	四	二	五	二	五	五	一		二	一

秋田	福井	石川	富山	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	和歌山	德島	香川
	一				三	一		一	三	三	二
		一					二			一	一
					一	三			二	六	二
							一				二
					一	一	二		一	二	
											一
	一	一			五	五	五	一	六	一二	八
		一									
	一				一	二			一		
										一	
				一	一				一	一	一
		一					一	一	一	二	三
							三			三	
					一				二	三	
								一	一	二	
	一	二		一	三	二	四	二	六	一二	四
	二	三		一	八	七	九	三	一二	二四	一二

愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩	台灣	朝鮮	合計
二	二四	二	三	一	三		一			一	八〇
四	二〇	一	二	一					一		四〇
三	三二	二	一	一			二				七三
	二三			一			二			一	三九
四	三五	一	一		一						七二
三	一六		一								三三
一六	一四九	六	八	四	四		五		一	二	三三七
											三
	二〇		一								三六
									一		一
	一										四
	二										二
	一五	一								一	三四
一	一五										三九
二	一七	二	一					一			四〇
	二五		一								三八
	二〇	二			一					一	三三
三	一一五	五	三	四	一			一	一	二	二三〇
一九	二六四	一一	一一	四	五		五	一	二	四	五六七

三、生徒學歷別表

昭和六年六月十日現在
△ハ高等學校資格試驗合格者ニシテ外數ナリ

學年・類	文科一年甲	文科一年乙	文科二年甲	文科二年乙	文科三年甲	文科三年乙	理科一年甲	理科一年甲イ	理科一年甲ロ	理科一年乙	理科一年乙イ	理科一年乙ロ	理科二年甲	理科二年乙	理科三年甲	理科三年乙
中學校四年修了 昭和六年	二三	一六	―	―	―	―	―	一二	一	―	二	一〇	―	―	―	―
中學校四年修了 昭和五年	三	―	一三	一一	―	―	―	―	―	―	―	―	一三	五	―	―
中學校四年修了 昭和四年	一	―	三	二	二六	一四	―	―	―	―	―	―	一	―	一六	八
中學校四年修了 昭和三年	―	―	一	一	一	―	―	―	―	―	―	―	一	―	四	一
中學校四年修了 昭和二年	―	―	一	一	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一
中學校四年修了 大正十五年	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
中學校四年修了 大正十四年以前	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
中學校四年修了 計	二七	一六	一八	一五	二七	一四	一三			一二			一五	五	二〇	一〇
中學卒業 昭和六年	二六	一三	―	―	―	―	―	一三	―	―	―	一三	―	―	―	―
中學卒業 昭和五年	一七	九	二六	九	―	―	一	五	―	二	―	四	一一	一三	―	―
中學卒業 昭和四年	六 △一	―	一四	一一	一六	六	一	六	―	二	―	四	六	一〇	九	一二
中學卒業 昭和三年	一	一 △一	七	三	一六	九	一	―	―	―	―	二	六	六	三	四
中學卒業 昭和二年	二	―	四	一	一〇	一	―	―	―	―	―	一	一	二	三	二
中學卒業 大正十五年	―	―	二	―	一	一	―	―	―	―	―	―	―	二	二	二
中學卒業 大正十四年以前	―	―	二	―	一 △一	二	―	―	―	―	―	―	―	二	一	三
中學卒業 計	五二 △一	二三 △一	五五	二四	四四 △一	一九	二七			二八			二四	三五	一八	二三
合計	七九 △一	三九 △一	七三	三九	七二 △一	三三	四〇			四〇			三九	四〇	三八	三三

第九　卒業生

昭和六年六月現在
（氏名ノ上ハ在籍大學部略稱。下ハ本籍府縣名トス）

一、第一回卒業生（大正十五年三月）百六十三名

文科甲類　七十一人

東　文　秋田　大助　東京
東　農　安　益祚　朝鮮
京　文　植野　豊治　高知
九　法文　小野　龍夫　高知
京　法　大原　祐一　高知
東　法　堅田　守正　高知
東　經　川村　有　宮城
京　文　久米　宗一　德島
京　農　朝田　盛　高知
死亡　石建　雪松　高知
死亡　江本　貫一　德島
九　法文　大西　宗治　兵庫
東　法　岡村　三郎　高知
京　法　門多　研一　愛媛
京　法　神崎　眞剛　岡山
東　法　杏木　主郎　廣島
京　法　千賀　覺一　兵庫
京　法　宇田　耕一　高知
京　法　小川　吉雄　高知
京　法　大橋　正通　高知
死亡　奥島　猛　和歌山
東　法　川口　三八雄　高知
東　經　北村　克郎　高知
東　法　小松　重幸　高知

京 文 佐山 敏生 高知
死亡 柴田 均吾 香川
東 法 高榮 一二 兵庫
東 經 竹内 正輝 鹿兒島
京 經 辻 芳雄 大阪
京 經 納谷 正男 大阪
京 經 長濱 清彦 愛知
京 法 濱田 正信 高知
京 經 馬場 定喜 高知
京 法 平野 義彰 兵庫
京 法 保津 善衞 岡山
京 經 松井 仲三 和歌山
京 法 水内 節男 岡山
東 法 山崎 薫 高知
京 經 山本 登 滋賀

京 經 坂部 丘次 大阪
京 經 島崎 直博 兵庫
京 文 高松 征二 高知
東 法 辰馬 喬男 兵庫
京 法 土居 清美 高知
京 文 中島 利夫 大阪
京 法 西内國次郎 高知
京 法 濱 珪 高知
東 經 原 勝亮 香川
京 法 堀内 薫 奈良
京 法 松岡 一陽 高知
京 文 村上 德美 高知
京 法 山崎 誠 高知
京 經 山本 正大 高知

東 法 榮谷萬次郎 岡山
京 文 鈴木 成高 高知
京 經 竹内 正已 兵庫
京 法 玉眞 鎭元 高知
東 經 土居 智 高知
京 經 中原 哲男 兵庫
京 經 野中 禾郎 高知
京 經 濱田 輝雄 高知
東 法 平石 武市 高知
東 文 藤井 久信 高知
京 法 正岡 輝 高知
東 經 松野 仁 高知
京 法 森 貞猪 高知
京 法 山下 正 鹿兒島
東 法 横田 計 高知

京 法 横山 重幹 高知
京 文 米澤 千足 德島

文科乙類

三十二人

京 法 淺田 允章 大阪
京 法 岩崎 勝 高知
京 文 川島 琢治 高知
京 經 佐々木第一郎 大阪
東 法 伸 次郎 鹿兒島
東 經 竹内 正夫 高知
京 法 長峰 賢次 宮崎
京 法 信清 浩男 高知
京 法 東野 正光 大阪
東 法 松井 芳房 大阪
京 法 山田 松雄 大阪

京 法 稻富 能惠 福岡
京 法 碓氷 幸三 長野
東 經 喜多 美一 德島
東 文 崎山 竹男 高知
京 法 鈴木 利茂 高知
東 經 土居 忠清 大阪
京 法 灘 庄之助 大阪
東 經 橋本 高善 高知
東 文 廣野 和藏 宮城
京 法 森 駿愛 知

東 經 池内 和實 高知
京 法 川口 繁一 大阪
京 法 木原 一雄 兵庫
東 法 島村 信夫 東京
京 法 田中 仁志 大阪
東北法文 中尾 朝彥 兵庫
東 經 西村 正志 兵庫
東 經 濱田 健夫 高知
東 法 古谷 保治 和歌山
京 經 山口 恒雄 長崎

理科甲類

三十三人

京 工 相坂 竹松 大阪
死亡 余田 弦彥 熊本
京 工 青木 鍵吉 大阪
九 醫 市村平八郎 兵庫

東理 今西 襄 高知
九工 門田 益 東京
東北工 葛目 修 高知
京工 河野 敏雄 高知
京經 中村 龜 高知
東北理 本莊 光宏 三重
京經 水口 補男 高知
九工 森澤健太郎 高知
京工 大西 惠德 島
京工 横井 元昭 香川

理科乙類

岡醫 明石 新藏 愛媛
九工 市村東九郎 兵庫
九醫 織田健太郎 高知
京法 片山 忠 高知

二十七人

長醫 浮舟 忠孝 大阪
京工 川田 正秋 高知
東 死亡 小島 寬之 高知
京工 河野 敏雄 高知
京經 中村 龜 高知
東北理 本莊 光宏 三重
京經 水口 補男 高知
九工 森澤健太郎 高知
京工 大西 惠德 島
京工 横井 元昭 香川

理科乙類

岡醫 明石 新藏 愛媛
九工 市村東九郎 兵庫
九醫 織田健太郎 高知
京法 片山 忠 高知

二十七人

長醫 公文 適 高知
新醫 下村 忠龜 高知
新醫 野田 千歲 高知
長醫 弘田 克平 高知
東北醫 三浦 公治 兵庫

二、第二回卒業生（昭和二年三月）百七十五名

文科甲類

七十九人

東法 安藝 修 高知
東經 今井 實 高知
東北法文 上田 正夫 山口
京文 大久保秀夫 岡山
九法文 柿本孝一郎 高知
京法 門脇 昶 高知
東經 川村 誠一 高知
京經 一柳順三郎（元篠田） 高知

東理 島崎 爲道 高知
岡醫 武内 暢 高知
九醫 原田 正德 島
九醫 古川 通貫 德島
九醫 安岡 藤吉 高知

東經 青木 昌長 高知
京經 岩崎 尙夫 高知
東北法文 尾形（元吉田） 健作 秋田
京經 大串 幾雄 德島
東法 櫻谷 重春 高知
京文 金川 健一 兵庫
東文 木島 辰二 兵庫
京法 近藤 亮爾 高知

東北醫 五味 勝 長野
東北醫 中村 修 岡山
東野 季喜 高知
松山 喬 愛媛
安田 等 高知

京經 赤松 一夫 愛媛
京法 上田 知作 高知
京經 尾崎千太郎 奈良
東文 大町 一枝 高知
東法 片岡 義信 高知
京法 川崎寅三郎 高知
東文 木原 曉 兵庫
東法 近藤 雄彦（元豐治） 高知

臼井 一水 高知
京工 北川 武彥 山口
東農 後藤 新 東京
京文 丹澤 次雄 山梨
京理 林 一正 德島
東工 溝上 銈 高知
東農 宮崎 開吉 高知
京工 安倉 利廣 高知
京理 山本 廣喜 高知
東農 和田 武揚 高知

東北醫 池 義孝 高知
長醫 小野 直治 高知
九工 岡田 元藏 德島
金醫 岸本 亮一 岡山

京經 佐藤秀樹 高知
東經 笹部三郎兵庫
東經 島本新六 高知
東法 鈴江弓弦 高知
京經 瀧本實春 高知
京法 近森武尚 高知
京法 鶴實治 鹿兒島
東文 土井久信 高知
京文 中山克己 高知
東法 濱田彌一 高知
京法 弘田裕 高知
京文 町田俊雄 愛知
京法 宮地正一 高知
東北法文 村上良太郎 愛媛
東北法文 安岡俊秀 高知（元光義）

京文 崔鳳守 朝鮮
東法 塩見俊二 高知
東文 下村大 高知
東法 曾我部正實 高知
京經 竹内武士 福井
京法 竹内收二 高知
東法 津野清海 高知
京經 寺澤六郎 德島
京文 中原滋世 德島
東經 濱田三雄 高知
京文 久本三次郎 德島
京法 牧野太郎 大阪
京經 水谷明 大阪
京經 宮本權次郎 和歌山
東文 安岡清水 高知
東經 鈴木敏 大阪（元山田）

京法 財津武士 大分
京經 島崎憲一 高知
東法 白濱金二 德島
京法 田萬廣文 香川
京法 竹内收二 高知
東法 津野清海 高知
京經 寺澤六郎 德島
京文 中原滋世 德島
東經 濱田三雄 高知
京文 久本三次郎 德島
京法 牧野太郎 大阪
京經 松本祐九郎 高知（死亡）
京經 横川源太郎 高知
京文 小島修 高知
京法 大江市之助 京都
京法 笹岡龍太郎 高知
京文 玉林憲義 山口
東法 西川龍起 高知
東法 平田六郎 高知
東法 三宅秀也 兵庫
京文 森川是隣 愛知
東經 立仙遥 高知

京文 山邊知行 福島
京法 吉田芳久 大阪
京經 和田耕作 高知
京法 渡邊利通 高知

文科乙類

二十七人

京法 井上數男 大分
京文 小幡義治 石川
東文 片岡一重 高知
東北理 關口信 千葉
九法文 仲田劍太郎 岡山
京經 野崎貢三 岡山
死亡 深澤赳 東京
東法 南政一郎 高知
東文 山崎清三 高知

京文 山本守 高知
京法 劉萬台 臺灣
京法 和田收 高知
東經 和田齊 高知
東法 若槻義雄 靜岡
東法 海路昌臣 高知
京法 喜多昌治 三重
東文 竹内弘 高知
東法 中山堅吉 高知
京經 松村春夫 京都
東法 三宅秀也 兵庫
京文 森川是隣 愛知
東經 山下正敏 佐賀

理科甲類

三十五人

東工	有澤 幸夫	高知	
京醫	市川 博信	高知	
	岡田 周作	高知	
東農	片山 良行	香川	
東工	鍵田 權一	香川	
京理	公文 武彦	高知	
東理	篠 邦彦	茨城	
東理	曾我部清澄	高知	
京法	内藤 俊義	熊本	
東農	前野 正博	高知	
東農	宮田 經道	鹿兒島	
京工	横田 正幹	高知	

理科乙類

三十四人

東理	伊勢村壽三	大阪	
京醫	伊吹順一郎	高知	
京醫	大月 五福	井	
東農	井上 正朗	香川	
京醫	尾立六三郎	鹿兒島	
	岡本倜二郎	兵庫	
	金川 顯雄	和歌山	
東農	清遠 幸彦	高知	
京理	榊原 康武	香川	
京工	島野 廣	高知	
東理	高木 十吉	高知	
京工	西村 敏男	高知	
京醫	森本 勉	高知	
京工	吉松隆三郎	高知	
東農	井上 正朗	香川	
京醫	尾立六三郎	鹿兒島	
	岡本倜二郎	兵庫	
	金川 顯雄	和歌山	
東農	清遠 幸彦	高知	
京理	公文 武彦	高知	
東理	篠 邦彦	茨城	
東理	曾我部清澄	高知	
京法	内藤 俊義	熊本	
東農	前野 正博	高知	
東農	宮田 經道	鹿兒島	
京工	横田 正幹	高知	

理科乙類

三十四人

東理	伊勢村壽三	大阪	
京醫	伊吹順一郎	高知	
京醫	大月 五福	井	

東北醫	河斗琪	朝鮮	
九農	澤田 喬雄	高知	
京經	田中 敏輝	兵庫	
京理	玉置 清	大阪	
長醫	中島 通	高知	
長醫	濱崎 靜雄	高知	
京理	藤永文治郎	德島	
千醫	前田 陽	千葉	
京醫	宮岡 正信	富山	
岡醫	横山 猛重	高知	

三、第三回卒業生（昭和三年三月）百七十八名

七十五人

文科甲類

京法	赤澤 貢	岡山	
京法	安藤 康生	岡山	
東文	池田 武男	高知	
東北醫	革島 史郎	京都	
九醫	瀨戸 正雄	神奈川	
京醫	高橋 重親	高知	
京工	戸田 務	高知	
長醫	成澤 晉	福岡	
京醫	濱田 三郎	高知	
京理	別府 常夫	高知	
千醫	松崎 秀夫	德島	
京醫	宮崎 敏男	高知	
京醫	坂谷 五郎	奈良	
岡醫	田岡 在久	德島	
千醫	竹内 勝	新潟	
岡醫	中内 胤雄	高知	
金醫	西内 恒喜	高知	
金醫	早石 萃	京都	
岡醫	堀 正澄	京都	
死亡	三宅 清七	德島	
九醫	森澤康二郎	高知	
九法	新谷規矩夫	福井	
京法	井上 徹	岡山	
東法	石井 忠男	東京	
京文	荒木 周治	京都	
京文	井上 龍二	鳥取	
東法	石破 二朗	鳥取	

京經 磯部 汀 兵庫
東法 岩淺 九野 德島
京法 臼井孝一郎 兵庫
京文 尾本 四郎 岐阜
東北法文 岡村 宏威 高知
京經 貝島 孝 福岡
京農 川崎 勢藏 大阪
京經 古妻 巖 大阪
東法 重成 肅 岡山
東文 島野 林藏 群馬
東北法文 鈴木 久雄 神奈川
京法 田井 勇 兵庫
東經 田中 久 大阪
東經 竹內 昌一 兵庫
土居 賢一 高知

京法 泉谷 彥治 大阪
京經 植田 輝夫 高知
京法 馬越 通靖 愛媛
京法 大野 四郎 高知
京經 及川 齊 宮城
九法文 金澤 一之 德島
京法 木村 貞吉 和歌山
京法 齋藤 忠士 福井
京法 篠田 秀世 大阪
京經 進藤富士夫 兵庫
東法 關田 愼一 高知
京法 田口 四郎 德島
東文 田淵 正範 高知
東北法文 橘 忠衛 高知
東法 土居 哲夫 高知

京法 岩井 万龜 高知
東法 上山 清 兵庫
京經 越知 通隆 愛媛
東文 岡崎 和郎 高知
京經 加藤 隆市 岐阜
京文 川上 俊鬼 高知
京文 北川 清馬 高知
京經 塩澤 和泉 栃木
京法 島崎 和駿 高知
京法 杉岡 長人 德島
京經 曾根 辰雄 大分
東文 田所 義行 高知
九法文 高田 竹喜 高知
京法 張 恒 誠 朝鮮
京經 戶川 儉二 岡山

京法 長尾 猛彥 愛媛
京經 秦 元春 高知
京法 松島 敏雄 長野
京法 森本 修 兵庫
京法 安岡 一 高知
東文 山田 秀峰 山梨
東經 橫島 正彥 高知

文科乙類 三十三人

東文 有光孝太郎 東京
京文 尾崎 一政 大分
京法 岡田喜一郎 京都
東文 清原 峯規 福岡
東文 公文憲太郎 高知
京經 澤 龍太郎 滋賀
九法文 菅 陞 山口

京法 永瀨 晧 熊本
京經 林 忠一 石川
東文 宮田 直視 高知
東法 森山 正 高知
京法 安田 稔 鳥取
京法 山名 良雄 大分
京法 吉川 末藏 兵庫

東法 中村 公祐 福岡
京法 前田 正和 兵庫
東法 目代 眞一 高知
京法 安岡桂太郎 高知
東經 山崎潤一郎 高知
京文 山本 匡夫 兵庫
東法 米澤善左衛門 高知

東法 上田 太郎 高知
東經 大西 武三 兵庫
京文 岡村昌之介 高知
京法 久万 俊成 高知
京經 酒井鹿太郎 愛媛
九法文 信田 良 高知
京經 長尾 正剛 高知

京經 中野 順夫 大分
東文 西山 龍介 高知
京文 平山 正弘 佐賀
東法 松本 定敏 高知

東法 西本 良雄 高知
東文 西山 健兒 高知
東法 野田 武雄 岡山
京法 松尾 一廣島
東法 三輪 光 和歌山
東文 溝淵 龍雄 高知

理科甲類

京工 伊藤 俊夫 高知
九工 岩重 又榮 鹿兒島
大工 奥田 重喜 大阪
岡醫 久保 四郎 高知
長醫 小松 英夫 岡山
京工 志田順一郎 千葉
長醫 瀬尾丙午郎 高知
東農 土居傳三郎 高知
岡醫 弘瀬 長男 高知
東農 細木 志雄 高知

東理 伊藤 洋 高知
東北工 岩藤 孟平 岡山
東醫 龜井 俊夫 廣島
岡醫 久保 四郎 高知
京工 公文 幸夫 高知
京工 込山 章 鳥取
京工 杉若 保 奈良
岡醫 田邊 公彬 大分
京工 中澤 力 高知
京醫 弘瀬 長男 高知
九醫 藤岡 正人 德島
東北理 正宗 勵 岡山

金醫 居村富三郎 大阪
岡本 中庸 高知
東農 木田 泰一 大阪
長醫 小林 種樹 長野
京工 佐々木心策 愛媛
京工 砂川 和夫 高知
京理 寺石 良弘 高知
東農 花井 武司 愛知
京工 藤田 眞 滋賀
東工 松澤 作馬 高知

三十六人

東農 宮本 弘 香川
東北醫 八倉萬佐寬 奈良

岡醫 森岡清三郎 高知
東農 安岡 博 高知

理科乙類

三十四人

滿醫 池田 謙一 愛知
京理 太田 誠一 和歌山
東農 長田 盛次 東京
九法文 許斐 次夫 福岡
東北醫 澤木 淑 靜岡
長醫 田村 季郎 高知
長醫 坪井 次郎 岐阜
新醫 長屋 一雄 愛知
京經 兵頭 武夫 愛媛
京醫 深瀬 正孝 高知
京經 松野 武雄 兵庫
京城醫 山內 敬和 高知

京工 森島 五郎 京都
東北工 柳原 正彥 兵庫

岡醫 植松 皆昌 高知
京文 大槻 顯 京都
東醫 革島 悟郎 京都
九法文 坂本 之雄 高知
東醫 澁谷 三郎 高知
長醫 田村平八郎 德島
京城醫 中島 弘 高知
東北醫 野田浩一郎 熊本
京經 平野 國弘 大阪
京醫 藤原 紫郎 愛媛
京經 安岡 準三 高知

岡醫 小田醇太郎 鳥取
岡醫 岡本 重雄 大阪
岡醫 久保 一正 香川
九醫 貞廣 幸壽 高知
東醫 島本多喜雄 高知
長醫 高橋 光行 高知
京城醫 中田 薰 高知
東北醫 原 明治 高知
東農 廣松 一實 高知
京醫 前田 恒丸 高知
岡醫 安田健次郎 兵庫

四、第四回卒業生（昭和四年三月）百六十三名

文科甲類　六十七人

京法	足立榮一郎（元荒賀）	靜岡	京法	阿部幸助	德島
京經	小幡嘉生	大阪	京經	粟屋精	山口
神商	井谷速男	大阪	京經	池田久夫	大阪
京經	石川治親	廣島	日本神	石澤澈	高知
京法	遠藤利一	靜岡	東經	尾崎作太郎	東京
京經	岡嶋宗一	大阪	九法文	岡本俊彥	福岡
京經	覓修	兵庫	京法	門脇賢一	高知
京法	川田豐德	高知	京經	京谷貞治	大阪
東文	黑田久信	靜岡	京法	小林重敬	京都
東文	佐藤孝	東京	京法	阪井隆一	京都
京法	白松陸代	靜岡	東經	陶山伊平	愛知
京法	田村良作	高知	神商	高井祥平	兵庫
死亡 京法	田中早苗	高知	京法	金麟伊朝鮮		
京經	高井春男	兵庫	東法	高岡眞一	德島
神商	赤松久吉	兵庫			
京經	五老海了	大阪			
京經	池永德夫	兵庫			
京經	岩崎利美	高知			
京經	大石平	長崎			
京經	鍵山貞利	高知			
京法	川久保悌夫	大阪			
京法	公文彪	高知			
東法	高橋國衛	千葉			

京經	土谷秀雄	愛媛	京經	寺地弘三	廣島
東法	東條猛猪	高知	京法	中西誠一	大阪
東法	中村求	高知	京法	中村良明	和歌山
京文	野田不美男	京都	京法	野々瀨才次郎	德島
東經	萩野茂治	高知	京經	萩森健一	大阪
東法	牧野純禰	愛知	東文	正木喬	高知
京經	丸山高愛	知	東經	三木治信	德島
京法	森透	和歌山	東經	山崎稔	高知
京法	李景源	朝鮮	京經	和田憲二	高知
京法	脇坂正夫	兵庫			

文科乙類　二十七人

東文	赤松晴夫	愛媛	京文	安藤康雄	京都
東北法文	緒方彰一	德島	京文	小野川秀美	高知
京法	神田甫	德島	京法	久我寅之助	大阪
京法	小柳義雄	東京	東文	齋藤宏	新潟
京經	土佐敬重	德島			
京經	中村敏郎	山口			
京法	西村寬	高知			
京法	野村一夫	岐阜			
京法	日野德松	大分			
東法	增田潔	靜岡			
東法	村松遠	德島			
東法	山本陽一	高知			
京法	和田義雄	長野			
伊吹	長雅	高知			
京法	大石太郎	高知			
京法	公文彪	高知			
東文	坂本德松	高知			

京 文 志賀 傳三 京都
京 經 橘 清 高知
京 法 成田 幹一 東京
京 法 平川 民夫 宮崎
京 法 堀内 房雄 奈良
京 法 藪内 文明 高知

二十八人

理科甲類

九 工 石田 辰午 愛媛
東北法文 岩佐 英夫 德島
京 工 衣斐 直道 高知
東 工 岸 重光 東京
大阪工 竹内 春男 愛媛
京 經 竹村德治郎 奈良
長尾 景一 高知
橋本 治水 高知
東 農 前田 正文 高知
東 農 森田 雄夫 大阪
京 法 西山浪太郎 秋田
京 法 藤村 慶一 山口
京 法 三浦 直彌 高知
京 法 藪内 文明 高知
東 經 濱田 德雄 高知
京 經 堀 善堯 兵庫
東北法文 水野 寬 宮城
東 法 山内 王允 大阪
東 農 和田 嘉平 德島

理科乙類

東北法文 朝倉 齊 高知
東北 醫 伊吹 良夫 滋賀
經 今西平一郎 奈良
金 醫 大久保久男 大阪
岡 醫 川北 良水 高知
九 醫 木村 尙之 島根
京 醫 篠原 勝德 島
九 醫 竹下 元亮 高知
京 醫 西内 巖 高知
京 農 長谷川恭治 岡山
京 醫 濱脇 建樹 高知
京 醫 町田 速雄 高知
東北 醫 新井 幹郎 栃木
九 醫 飯田 覺 兵庫
京 醫 内宮 榮次 鹿兒島
醫 奥 雅之 兵庫
醫 川村 羊男 高知
小林 洋二 和歌山
京 醫 田中 正秀 高知
醫 竹村 悟 高知
醫 中平 宗一 愛媛
醫 野中 清 高知
醫 長谷川 博 愛知
京 醫 彦坂 節三 愛知
京 醫 松岡 亮一 鹿兒島
岡 醫 伊賀 安男 岡山
九 醫 石神 脩 靜岡
京 醫 小神 公一 德島
京 理 鍵山 謙吉 高知
河野 利健 高知
東 農 崎村 茂樹 東京
九 醫 高田 勝實 高知
日 醫 露久志幹男 大阪
慶應 醫 成田敬太郎 富山
京 理 野本 道一 高知
京 理 服部 重次 京都
京 農 前田 總六 高知
京 醫 森本 正 和歌山
東北理 山崎 重明 高知
大阪工 吉川 勇 高知

京醫 山脇 新二 靜岡　九醫 吉川 京惠 高知

五、第五回卒業生（昭和五年三月）百六十七名

文科甲類　七十一人

東法 赤木 次郎 大阪　東法 伊東 猷宗 福島
神商 石川 英夫 大阪　東法 市野 亨 大阪
東文 岩河守之助 高知　東文 岩崎萬喜夫 高知
東文 榎村 巧 兵庫　京經 太田 德延 高知
京法 片岡 八郎 高知　京法 金親不二男 大阪
京文 河野 好男 兵庫　東經 川島哲三郎 高知
東北法文 喜多 養藏 高知　東經 木原 晛 兵庫
死亡 小松 辨次 高知　京文 米田 三治 奈良
神商 塩見 榮一 岐阜　東法 島村 十三 高知
東北法文 洲合 充 大阪　東北法文 杉本 信哉 兵庫
京經 多田 英男 高知　東文 田中 優 高知
東北法文 田村 孝 高知　東北法文 武内喜一郎 千葉

東文 池上 健男 高知
京法 岩井 茂利 高知
東法 岩谷 碩三 鹿兒島
東法 奥原日出男 岡山
京法 河合 正志 岡山
九法文 鐮田庄太郎 千葉
京經 小泉 文治 大阪
清水 清 東京
東北法文 下村 基 高知
東文 關根三子雄 埼玉
上智大 田原 五郎 鹿兒島
京文 竹村 義一 高知

京文 玉井 猛次 大阪　台北文政 玉眞 達雄 高知
東北法文 津田 幸雄 鹿兒島　東法 恒石 幸也 高知
東法 中澤 義典 高知　京法 中嶋 寬 大阪
東北法文 西野 友彦 高知　東法 西村 博 高知
東法 濱田 陽三 高知　京法 日垣 恒章 大阪
京經 東野 俊夫 高知　京經 平井 雅 高知
東文 平松 日吉 大分　京經 深瀨 利雄 高知
京法 藤井 正義 大阪　京法 藤元剛三郎 兵庫
前田 忠夫 高知　京法 槇田武三郎 鳥取
東文 松永 健哉 長崎　京法 丸井 富丸 熊本
京法 村岡 隆智 大阪　東文 山本 正秀 高知
京法 吉田 寬二 兵庫　京法 渡邊貞之助 栃木

文科乙類　三十四人

東法 市川統太郎 栃木　京法 市原 敏雄 高知
東法 植田 一夫 高知　京法 海野 稔 靜岡

京法 千頭 浩 高知
東北法文 土居 克己 高知
京文 西田憲一郎 靜岡
東文 島中 俊一 高知
東文 東川 正夫 高知
京法 平林 茂 兵庫
京法 深津 尙愛 知
京法 細木 八尋 高知
東法 町田 稔 高知
九農 宮里 達夫 鹿兒島
神商 吉川 武男 高知
東法 糸賀 庸山 梨
京法 大石 了 東京

東京 大西 正男 高知　東北法文 大山富士之 靜岡
京經 柿木 太郎 大阪　京法 鎌田 巖 高知
東北法文 木村已知春 廣島　京法 岸 熊雄 高知
東北法文 小林 三郎 神奈川　東法 佐竹 忠雄 高知
京法 島内 武秋 高知　東文 下村華濤海 東京
東法 須藤五三郎 高知　東法 高平 弘 高知
台北文政 橋本 泰夫 高知　京經 樋口 次雄 長野
神商 福山 稻夫 三重　東法 堀江 悦三 靜岡
東經 茂木 信平 栃木　京法 森 國夫 香川
京法 安岡日出男 高知

理科甲類

三十二人

專修大工 秋友 素身 高知　井尻 武逸 京都
東北理 内田 虎雄 德島　東農 小原 巖 高知
東工 木原 博 兵庫　東北工 清岡 鏡一 高知
東北法文 小松 幹彦 高知　九農 杉本 虔吉 兵庫

東農 津保外茂男 福井　東北醫 德岡 裕美 高知
東京工大 中村 益藏 高知　東理 野島 稔 高知
京醫 濱谷 侃 高知　京工 藤田 龍雄 滋賀
松本貞次郎 三重　京工 宮内 義男 高知
東工 元吉勇太郎 高知　台北理農 守田 富吉 和歌山
京農 山崎 力 高知　京醫 山崎 英正 高知
東工 山本 將雄 高知　東農 山崎 齊 高知
吉田 達夫 兵庫

理科乙類

三十人

金醫 市場 官司 大分　新醫 内島 盛文 德島
九醫 小倉 登 和歌山　京農 大井 俊亮 靜岡
九醫 北村眞三郎 高知　公文悦二郎 高知
千醫 坂本健次郎 東京　大醫 坂本 義敎 高知
京工 白畠 正己 大阪　九醫 鈴木 憲輔 熊本
東農 田路 六郎 兵庫　東北工 竹崎 重利 高知
千頭 龍雄 高知　金醫 野中 正衡 高知

大醫 小笠原今男 大阪
川添 利秋 東京
京經 五藤 政美 高知
九醫 猿田南海雄 高知
仙波 森高 雙峻
谷岡 止一 高知
福辻 清作 奈良

東文 加藤 彦平 愛知
九法文 木下 虎一 大阪
京法 清重 延儀 德島
東法 櫻井 直堅 東京
京經 生野 精大 分
東法 長澤 康 兵庫
京法 日和崎棟男 高知
京法 茂木 順平 栃木
森澤 忠 高知
東京工大 田中 四郎 高知

藤井棟太郎　德島　專修大法　前田犬千代　高知　長醫　前原　元蒲　沖繩
東醫　安並　篤　高知　岡醫　山崎　義節　高知　金醫　山中　英　岡山
千醫　横地　良次　群馬　東北醫　吉田　甫　東京　東農　吉間　重一　兵庫

六、第六回卒業生（昭和六年三月）百七十六名

文科甲類　六十九人

東法　井上稀有丸　高知　京法　井狩　貞之　滋賀　東法　伊尾木正憲　高知
東經　池　正道　高知　京農　稻葉　英二　京都　京法　岩井　享　高知
京法　宇都宮靜男　大分　東文　植村　郁夫　高知　東經　上山　俊郎　兵庫
京文　碓井　數明　高知　小田　貢　高知　岡　軌丸　高知
東法　岡崎　正倫　高知　東文　岡村　景秀　高知　東文　岡村　清顯　高知
東經　岡村　道德　高知　京經　片岡　一義　高知　京經　龜井　菊夫　香川
東北法文　河野　幸雄　高知　京經　栗田鶴一郎　高知　小林　巖　長野
京法　榊　定雄　茨城　京經　笹岡　一二　奈良　東文　塩田　保美　高知
島崎　巖　高知　京經　島村　三郎　高知　京經　白神　英夫　岡山
杉本　哲三　高知　鈴木　喬德　島　京經　田上　榮　高知

田所　正幸　高知　東法　高橋藤一郎　高知　東文　谷崎　勇　德島
神商　寺石　安弘　高知　土居俊次郎　高知　京文　内藤　太郎　兵庫
京經　長岡　健次　東京　中川　俊郎　兵庫　東法　中澤　良一　高知
京法　永田　忠造　山口　東經　仁尾　一郎　福岡　東文　西森　善廣　高知
京法　野中　宏　高知　東北法文　野村　武男　岐阜　京法　橋本　博　大阪
京法　橋本　幸夫　兵庫　京法　原　海南男　高知　東文　原口　武雄　佐賀
東法　平田　威男　高知　東法　平野　昇　德島　京文　廣田　孝一　高知
東文　細木　綾雄　高知　東文　松田　國利　高知　京文　三木　桂　高知
九法文　三好　英造　香川　東文　三好不二雄　愛媛　東北法文　溝淵　文雄　高知
宮崎　應信　高知　京經　森　高高知　京法　森澤　壽保　高知
京經　安國　幸恭　兵庫　京文　柳原　勇　愛媛　東法　山崎獅子雄　高知
京法　山中　俊一　茨城　東文　吉田吉二郎　德島　京法　吉田　富夫　大阪
京文　吉村　唯吉　高知　吉本　直定　高知　京經　脇田　寅三　鹿兒島

文科乙類　三十七人

東文　伊野部重一郎　高知　京法　石川　朔愛媛　京法　一圓　一億　高知

京 經 江口 英一 德島 神 商 小笠原喜郎 高知
京 經 大浦 信一 愛媛 京 文 岡林 龜 高知
京 經 鎌田 信 香川 東 法 蒲原 英一 高知
京 經 楠川定治郎 福井 東 經 齋藤精五郎 高知
京 法 高橋 一寸 高知 京 法 高橋 茂樹 廣島
月岡 重雄 長崎 京 法 筒井豐次郎 高知
神 商 德田 和雄 鳥取 神 商 中澤 清 高知
台北文政 濱田 薰 高知 堀 和夫 兵庫
東 法 町田 照雄 高知 町田又兵衛 高知
京 經 三木 常緣 高知 京 法 三好 政一 香川
東 經 宮地 豐彥 高知 東 法 宗石 理明 高知
東 經 矢野哲太郎 高知

理科甲類

上田 昌檢 高知 東 農 伊藤 和夫 高知
上島 竹雄 東京 九 工 大橋 耕平 大阪

三十四人

東 農 今村 達 高知
大平 章重 高知

東 農 岡崎 壽彥 高知 東 工 岡林 次男 高知
東 農 岡本 昌幸 高知 柏井 豐俊 高知
東 理 北岡 龍海 高知 佐野銑太郎 高知
杉本 三郎 高知 仙頭 一郎 高知
東京工大 高垣 三郎 和歌山 高橋 武愛媛
京 農 長野 高明 高知 中平 一夫 高知
奴田原 仁 高知 硲 謙三 和歌山
岡 醫 松浦 祐一 香川 松木 正美 高知
森 明 高知 山本 勝德島
京 工 吉川 涉 高知

理科乙類

三十六人

秋山 一雄 高知 有光 治水 高知
入交 正豐 高知 宇都宮三涉 愛媛
內田 譽德島 小澤 一郎 神奈川
甲斐 秀郎 熊本 柿澤 達彥 兵庫

東 工 岡本 貞雄 高知
京 工 川田 勝稔 高知
東 理 島崎 悌吉 高知
曾和 德雄 高知
京 工 種田 敏男 高知
中道 輝一 兵庫
東京工大 間瀨 眞平 愛知
東 農 宮崎 良一 德島
大阪工大 橫山 彪 高知

京 醫 井上 諒 鳥取
上田 榮吉 高知
北大理 岡田 一次 兵庫
木下 直幹 兵庫

九　醫　齋藤精一　德島　　田島治兵衛　長野　　伊達長雄　和歌山
京　農　玉田和夫　京都　　京　醫　寺内等　德島　　中澤元　高知
　　西村衛　高知　　台北理農　羽根田彌太　岐阜　　服部幸雄　大阪
京　農　東出準一　三重　　藤本忠雄　廣島　　九　醫　松本專八郎　高知
岡　醫　水沼道勝　愛媛　　新　醫　宮井梓　長野　　本山茂　高知
京　醫　森木道男　高知　　東　農　森田明喜　高知　　森本昌　高知
　　山口秀吉　大阪　　山崎求已　高知　　京　農　山本平介　高知
　　吉村欽二　高知　　九　農　李起仁　朝鮮　　和田秀雄　兵庫

卒業生科別表

卒業年次	種別	文科 甲類	文科 乙類	文科 計	理科 甲類	理科 乙類	理科 計	合計
大正十五年		七一 △一	三二	一〇三 △一	三三	二七	六〇	一六三 △一
昭和二年		七九 △二 ×一	二七	一〇六 △二 ×一	三五	三四 △一	六九 △一	一七五 ×一
昭和三年		七五 △一	三三	一〇八 △一	三六	三四	七〇	一七八 △一
昭和四年		六七 △二	二七	九四 △二	二八	四二	六九	一六三 △二
昭和五年		七二	三四	一〇五	三二	三〇	六二	一六七
昭和六年		六九	三七	一〇六	三四	三六 △一	七〇 △一	一七六 △一
計		四三二 △六 ×一	一九〇	六二二 △六 ×一	一九八	二〇二 △二	四〇〇 △二	一〇二二 △八 ×一

備考　△印ハ朝鮮人×印ハ台灣人ニシテ內數ナリ

第九　關係法規

一　高等學校令　（抄）

（大正七年勅令第三百八十九號）

第一條　高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムヘキモノトス

第七條　高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條　高等學校高等科ヲ分チテ文科理科トス

第九條　高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得
其ノ修業年限ハ一年トス
專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得
專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
第十二條　高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス
第十三條　高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以內尋常科三百二十人以內トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以內トス
第十四條　高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ
一學級ノ生徒定數ハ四十人以內トス
第十五條　高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得
第十六條　高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之

ニ充ツルコトヲ得
高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
第十七條　高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書竝生徒ノ入學退學及懲戒、授業料入學等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
第二十條　本令ニ依ラサル學校ノ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス
舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依リ高等學校トス
前項ノ高等學校ニハ當分ノ內第十三條ノ規程ヲ適用セス
高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存續ス

二　高等學校規程（抄）

（大正八年文部省令第八號、大正九年文部省令第四號、昭和二年文部省令第十八號、第二十八號改正）

第一章　學科課程及教科書

第二節　高等科

第四條　高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ奬勵スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務竝人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ務メシムヘシ

第六條　國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正格且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智德ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ

習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文竝普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條　外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智德ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條　歷史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理解セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史、東洋歷史及西洋歷史ヲ授クヘシ

第九條　地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條　哲學概說ハ思想界ニ關スル智識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概說ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條　心理及論理ハ心意ニ關スル智識ヲ得シメ思考ヲ鍛練セシムルヲ以テ要

旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概說ヲ授クヘシ

第十二條　數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解折幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條　自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條　物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理解セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條　植物及動物、鑛物及地質ハ天然物ニ關スル智識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル智識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

鑛物及地質ハ鑛物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル智識ヲ授ケ又便宜上主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條　法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル智識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條　圖畫ハ形態ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條　體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尚フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道、柔道及弓道ヲ加フルコトヲ得

第十九條　文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史	三	五	四
地理	二		
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三
計	二九(三三)	二九(三三)	二八(三二)

第一外語國ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年

ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一一	一〇	一〇
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三一(三四)	三一(三四)	三〇(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條　理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	
第一外國語	八	六	六
第二外國語	(四)	(四)	(四)
數學	四	四	四【二】
物理		三	講義三 實驗二 五

化學			三	講義三 實驗二五	
植物及動物			二	二	【講義二 實驗二四】
鑛物及地質			二		
心理				二	
法制及經濟				二	
圖畫			二	【二】	
體操			三	三	三
計			二八(三二)	二八(三二)	二八(三二)

第三學年ノ數學【二】及圖畫【二】ト第三學年ノ植物及動物【講習二實驗二】トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ撰擇セシムルモノトス

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム

此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九

第二外國語			
計	(三)	(三)	(三)
	三〇(三三三)	三一(三四)	三一(三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節　專攻科

第二十一條　專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜撰擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、鑛物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節　教授上ノ注意

第二十二條　高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節　教科書

第二十三條　高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章　學年、教授日數及式日

第二十四條　學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條　教授日數ハ尋常科ニ在リテハ毎學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ毎學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限リニアラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章　編制

第二十八條　尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四章　設備

第三十一條　高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衞生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條　校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

第三十四條　校具ハ教授上管理上及衞生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十五條　高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表
三　生徒學籍簿、出席簿、身体檢査ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關ルス書類
四　試驗ノ問題答案及成績表
五　資產原簿、出納簿經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械器具標本模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由徵兵事故保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第六章　入學在學休學退學及懲戒

第三十八條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス

第三十九條　當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條　他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語算術國史地理理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ檢定ニ合格シタル者

ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

第四十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一　他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
二　高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
三　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
四　文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
五　文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條　高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體檢查ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ非ラス

第四十六條　高等科第二學年以上ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條　高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以內ニ於テ高等學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十八條　高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條　高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條　學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條　學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第五十五條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　雜則

第五十八條　高等學校學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一　學年學期及休業日ニ關スル事項

二　學科課程教授時數ニ關スル事項

三　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

四　生徒ノ入學退學懲戒ニ關スル事項

五　授業料入學料等ニ關スル事項

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校大學豫科ニ在學スル生徒ニシテ大正十年八月三十一日マテニ卒業セサルヘキモノハ之ヲ高等學校高等科ノ相當學年ニ編入ス

高等中學校規程明治四十一年文部省令第九號高等學校大學豫科入學者無試驗檢定規程及高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ハ之ヲ廢止ス

三　文部省直轄諸學校官制　（抄）

（明治二十六年勅令第八六號、大正十三年勅令第三九一號、昭和二年勅令第三六五號改正）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

高知高等學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒主事

助教授

書記

生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シ

タル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

四　文部省直轄諸學校職員定員令

（抄）

（明治三十五年勅令第九九號　大正十四年四月勅令第一四二號　昭和二年勅令第三六六號改正）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

	校長	教授	生徒主事	助教授	書記	助手	生徒主事補
高知高等學校	一人	三十人	一人	四人	六人	一人	一人

五　文部省直轄諸學校長職務規程

（大正二年文部省訓令號外　大正八年九月號外改正）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條　左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一　教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二　規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三　俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四　教官以下ノ內國各地出張ニ關スルコト

第五　教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六　講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七　經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八　三日以內ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條　前條ニ揭ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

六　帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル件

（明治二十六年勅令第九十六號　大正九年勅令第七四號改正）

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長、官立大學長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

七　高等學校高等科入學資格試驗規程

（大正八年文部省令第九號　大正十五年文部省令第七號改正）

第一條　高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡十六年以上ノ男子ニシテ身体健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條　高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條　試驗ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條　專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラル、者ニ付亦同シ

第五條　中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條　高等學校高等科入學資格試驗ノ問題答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條　中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手數料ヲ徵收スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年文部省令第七號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八　文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效ニ關スル件

（明治三十八年文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

九　文部省直轄學校外國人特別入學規程　（明治三十四年文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス所定ノ學校ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケンコトスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケンコトスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ

但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徴

收セルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第七條　本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條　明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一〇　高等學校高等科學力檢定規程　（大正十年文部省訓令號外）

第一條　高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通知アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス

第二條　試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第

四學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ

第三條　試驗ヲ受ケントスル者ハ受驗料金五圓ヲ納ムヘシ

既納ノ受驗料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條　試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

附　則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

證　明　書

族　稱

何　某

校印

何年何月生

右ハ當校試驗ノ成績ニ依リ高等學校高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス

年　月　日

何高等學校長位勳　氏　名

番　號

一一　學生生徒兒童身體檢查規程　（抄）

（大正十年文部省令第十六號　昭和二年文部省令第三號改正）

第一條　學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條　身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫カ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助クシムルコトヲ得

第三條　身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

一．發育（身長、體重、胸圍、概評）二　榮養　三　脊柱　四　視力及屈折狀態　五　色神　六　眼疾　七　聽力　八　耳疾　九　齒牙　十　其ノ他ノ疾病及異常　十一　監察ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ヲ行フコトヲ得

色神檢査ハ在學中一回行ヒタル時ハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

第四條　身體檢査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一　檢査ノ表記ニハ度ハセンチメートル、衡ハキログラム、ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ夫々單位ノ下一位ニ止ムヘシ

二　身長ヲ測定スルニハ足袋靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髷アル者ハ小桿ヲ髷下ニ水平ニ挿入レテ測定スヘシ

三　體量ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ

四　胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼氣ノ終レル時ヲ測定スヘシ乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス

五　發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲乙丙ノ三ニ分ツルモノトス

六　榮養ハ甲乙丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス

七　脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸測ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八　視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ檢査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ

弱視失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九　色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十　聽力ハ其ノ障碍ノ有無ヲ檢査スヘシ

十一　齒牙ハ齲齒ニ就キ檢査スヘシ

十二　其ノ他ノ疾病及異常ハ檢査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ

殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障碍、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺樣增殖症及扁桃線肥大、「ヘルニヤ」、神經衰弱精神障碍ニ注意スヘシ

十三　監察ノ要否ハ檢査ノ結果心身ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條　第一條第一項ノ身體檢査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體檢査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在校中連年之ヲ繼續スヘシ但シ程度ヲ異ニスル學科部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別票ヲ用フルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體檢査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體檢査票ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體檢査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ

第六條　身體檢査ヲ施行シタルトキハ學校長ノ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示スヘシ授業免除就學猶豫就學免除休學退學又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若ハ其ノ保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其ノ他必要ナル處置ヲ取ルヘシ

第七條　第一條第一項ノ身體檢査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體檢査統計表ヲ調製シ其ノ年六月限リ直轄學校公立私立ノ大學高等學校及專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ其ノ年七月限リ文部大臣ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

一一一　學生生徒兒童身體檢査規程上ノ發育概評決定標準（抄）

（大正九年文部省訓令第九號）
（昭和二年文部省訓令第二號改正）

學生生徒兒童及幼兒ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一、七年ヨリ十八年マテノ男子七年ヨリ十六年マテノ女子ニアリテハ被檢者ノ身長體重身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者カ何レモ左記發育概評決定標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年々長ノモノ、標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ一年々少ノモノ、標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セサルモノヲ丙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス表中ニ揭ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二、十九年以上ノ男子ニアリテハ身長一六〇・六センチメートル體重五三・六キログラム身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・三三四以上ナルヲ甲トシ之ニ該

當セスシテ身長一五七・〇センチメートル體重四八・八キログラム身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・三一一以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

發育概評決定標準表

年齢	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十六年	一五二、七	四四、五	〇、二九一
十七年	一五七、〇	四八、二	〇、三〇七
十八年	一五九、一	五〇、七	〇、三一九
十九年	一六〇、三	五二、六	〇、三二八

一三　行幸啓ノ節學生生徒敬禮方　（明治四十三年文部省訓令第十八號　明治四十四年訓令第十一號　大正五年訓令第五號改正）

一　武裝携銃ノ場合學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劍ヲ銃ニ裝セシメ前圖ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車カ中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

二　武裝セサル場合（女生徒ヲ含ム）

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ位置シ前圖ノ見エタルトキ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前圖ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ（體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム）「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

附　錄

一　對抗競技ニ關スル申合事項（昭和四年九月高等學校長會議ニ於テ協定）

第一條　此ノ申合ニ對抗競技ト稱スルハ他ノ學校若ハ團體ヲ相手トシテ行フ總テノ競技ヲ包含ス

練習試合ハ之ヲ對抗競技ト看做ス

第二條　對抗競技ノ相手ハ高等教育ヲ施ス諸學校ニ限ル但シ特別ノ事由アル場合

ハ此ノ限ニ非ラス

第三條　原級ニ止マリタル生徒ハ當該學年間コレヲ對抗競技ニ參加セシムルコトヲ得ス

第四條　對抗競技ヲ行フ時期ハ定期休業中トス但シ學校所在地又ハ授業（練習ヲ含ム）ニ影響ナク往復シ得ヘキ時ニ於テ行フ場合ハ此ノ限ニアラス

第五條　對抗競技ノ回數ハ前條但シ書ノ場合ヲ除キ同一種類ノ運動ニ就キテハ一學年一回ヲ超ユルコトヲ得ス但シ定期休業中ニ於テ競技地並ニ其ノ沿道ニ於テ行フ競技ハ本文ノ回數ニ算入セス

第六條　對抗競技ノ爲授業ヲ休止スルコトヲ得ス

第七條　對抗競技ヲ行フ際入場料ヲ徵收スルコトヲ得ス

入場料ヲ徵收スル對抗競技ニハ參加セサルモノトス

第八條　對抗競技ヲ行フ場合ニハ成ルヘク教官ヲ同行セシムルモノトス

第九條　高等學校間ニ於テ對抗競技ヲ行ハムトスルトキハ關係學校長ハ其ノ時期、場所及方法等ニ就キ豫メ打合ヲナスモノトス

二　學校運動選手及運動競技會ニ關スル協定事項　（大正十五年四月十五日參加決定）

（一）學校運動選手ニ關スル件

學校運動選手ニ關シ定ムヘキ規準少カラスト雖其ノ主要ナル事項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一　學校運動選手ハ左ノ各項ニ該當スルヲ要ス

イ　規律節制ヲ重ンシ品性操行ニ非難ナキコト

ロ　勤勉ニシテ學業成績可良ナルコト

ハ　落第生若クハ假進級中ノモノニアラサルコト

ニ　身體健全ニシテ校醫ノ健康証明アルコト

ホ　職業的競技者ニ非ラサルコト職業的競技者ノ定義ハ當分ノ內國際陸上運動競技聯盟（*International amateur athletic Federation*）ノ現行規程ニヨルモノ

二　左ニ揭クルモノハ學校運動選手タルヲ得ス

イ　競技會參加ニ關シ氏名學籍年齡ヲ詐稱シ其他學生ニアルマシキ行爲アリタルモノ

ロ　自己ノ氏名ヲ商品ノ廣告宣傳ニ利用セシメタルモノ

ハ　謝禮ヲ受ケテ運動競技ヲ指導シタルモノ

ニ　競技會ニ參加シ入場料ノ分配ヲ受ケタルモノ

ホ　競技練習中ノ食費トシテ平素各自ノ宿所ニ於テ仕拂フ食費ト同額ノ料金ヲ自辨セサルモノ

ヘ　校友會以外ノモノヨリ直接ニ金品ヲ受ケタルモノ

ト　學業ヲ怠リ其他濫リニ缺席缺課スルモノ

チ　停學處分ヲ受ケタルモノ

三　學校長ハ前項（イ）ヲ除クノ外一ケ年ヲ經過シタル後ハ情狀ニヨリ再ヒ學校運動選手タラシムルコトヲ得

四　學校運動選手ハ職業的競技者ト共ニ若クハ之ニ對シ競技スルヲ得ス

五　學校運動選手ハ其ノ學校ヲ代表スルト個人ノ資格タルトヲ問ハススヘテ競技會ニ參加セントスルトキハ學校長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

（二）運動競技會ニ關スル件

運動競技會ニ關シ定ムヘキ規準少カラスト雖モ其ノ主要ナル事項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一　學校運動選手ノ參加ヲ承諾スヘキ運動競技會ノ種類左ノ如シ

イ　學校長ニ於テ適當ナリト認ムル學校又ハ各種體育團體ノ主催ニ係ルモノ

ロ　學校長ニ於テ營利又ハ宣傳ヲ目的トスルニアラスト認ムルモノ、主催ニ係ルモノ

二　對抗競技會ハ成ルヘク春季夏季冬季休業中其他學業ニ妨ケナキ時期ニ於テ行フコト（對抗競技トハ一又ハ二以上ノ學校若クハ團體ヲ相手トシテ行フ凡テノ競技ヲ包含ス）

三　賞品ハ授賞者ノ氏名及ヒ技目名等ヲ彫刻又ハ記載セル賞狀、賞牌、旗幟、綬章等記念ノ意ヲ表スヘキモノタルヘシ

競技會主催者ハ賞品ノ寄附ヲ求ムルコトヲ得ス

競技會主催者ハ公共及ヒ公益團體又ハ特ニ緣故アル者以外ヨリ賞品ノ贈與ヲ受クルコトヲ得ス

四　善意ノ寄附ヲ受クル場合ハスヘテ校友會長ニ於テ之ヲ受理スルモノトス

五　競技者ハ華美、不體裁又ハ不潔ノ服裝ヲナスヘカラス

服裝ノ標準ハ左記ニヨル

イ　陸上競技者ハ四分一袖ノ肌着ト膝頭ノ上約一〇糎ヨリ短カラサル半袴ヲ着用スヘシ

ロ　野外競走ノ如キ途中水路横斷ヲ要スルコトアルヘキ競技ニ參加スルトキハ必ス黒色ノ半袴ヲ着用スルコト

ハ　競漕ノ參加者ハ（イ）ニヨルヘキモノトス

ニ　水泳競技ノ參加者ハ大日本水上競技聯盟ノ規定ニヨル水泳着ヲ着用スルコト

六　應援者ハ運動精神ヲ尊重シ左記事項ヲ嚴守スルヲ要ス

イ　音聲ヲ擴大シ噪音爆音ヲ發スヘキ樂器其他一切ノ物品ヲ使用セサルコト

ロ　校旗又ハ標旗ノ外一切他ノ旗幟等ヲ携ヘサルコト

ハ　異樣ノ風躰ヲ爲ササルコト

ニ　豫メ他ノ會員全部ノ回覽ニ供シ其ノ承認ヲ經タル歌詞曲譜關聲ノ外卑猥不遜諸謔喇弄ニ渉ルカ如キ放歌大聲ヲ發セサルコト

ホ　役員又ハ對手ノ愚弄侮慢シ若クハ競技ノ進行ヲ妨クルカ如キ所業アルマシキコト

ヘ　應援費ヲ濫ニ徴收セサルコト

七　觀覽者ノ取締ハ應援者ニ對スル規定ニ準シ規律ヲ守ラシムルコト

八　學校運動競技會ハ入場料ヲ徴收セサルヲ原則トス

九　學校ハ他ノ學校、體育團體其他競技會ヲ開催セントスルモノト互ニ連絡ヲ計リ同種類ノ競技會カ頻繁ニナラサルヤウ協定スルコト

三　高知高等學校學友會會規

第一條　本會ハ高知高等學校學友會ト稱ス

一名稱

第二條　本會ハ本校教育ノ趣旨ト相俟チ善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

二目的

第三條　本會ハ左ノ四種ノ會員ヲ以テ組織ス

三組織、會員

一　生徒會員　本校生徒
一　職員會員　本校職員
一　贊助會員　本校卒業生
一　名譽會員　本校舊職員

第四條　本會ニハ第二條ノ目的ヲ達センカタメニ左ノ各部ヲ設ク

總務部
文藝部
辯論部
劍道部
柔道部
弓道部
野球部
庭球部
蹴球部
競技部

相撲部
漕艇部
水泳部
山岳部
卓球部

第五條　會員ハ各部ノ部員タルコトヲ得ルモノトス

四　役員

第六條　本會ニハ左ノ役員ヲ置ク

一　會長　一名　學校長ヲ推戴ス
一　副會長　一名　首席教授ヲ推戴ス
一　理事　二名　教官中ヨリ會長之ヲ委囑ス
一　部長　各部一名　教官中ヨリ會長之ヲ委囑ス
一　庶務主任　各一名　職員會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
一　會計主任
一　總務　二名　文科理科毎ニ各一名トシ生徒會員之ヲ互選ス
一　部委員　各部三名　（總務部、文藝部、山岳部ハ五名）生徒會員之ヲ互選

ス但シ總務部委員ハ文科ヨリ三名理科ヨリ二名ト
ス

一　學級委員　各學級正副總代ヲ以テ之ニ充ツ　各學級二名
一　會計調査委員　五　名　中二名ハ教官中ヨリ三名ハ學級委員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第七條　生徒役員ハ會長ノ承認ヲ得タル者ヲ以テ之ニ充ツ
第八條　本會役員ノ任務左ノ如シ
一　會長ハ會務ヲ統裁シ役員會ノ議長トナル
一　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ會長代理ヲナス
一　理事ハ會長ノ命ヲ受ケテ會務ヲ處理ス
一　部長ハ各々其ノ部ノ事務ヲ管理ス
一　會計主任及庶務主任ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會計及庶務ニ關スル事務ヲ擔當ス
一　總務ハ總務部長監督ノ下ニ本會全体ニ關スル事務ヲ處理ス
一　部委員ハ部長監督ノ下ニ其ノ部ノ事務ヲ處理ス
一　學級委員ハ各々其ノ級ニ關スル事務ヲ處理ス

一　會計調査委員ハ會計調査ヲナシ之ヲ役員會ニ報告ス

第九條　生徒役員ノ任期ハ毎年一月一日ヨリ十二月末日迄トス
但シ學級委員ニ限リ毎年四月ヨリ翌年三月迄トス
役員中會長ノ委囑スル者ニアリテハ毎學年ノ始メニ於テ之ヲ委囑シ選擧ニヨルモノニアリテハ毎年十一月中ニ於テ之ヲ改選ス但シ重任スルコトヲ得

第十條　生徒役員中缺員ヲ生シタル時會長委囑ニヨルモノニアリテハ會長委囑ニヨリ選擧ニヨルモノニアリテハ次点者ヲ以テ直ニ之ヲ補缺ス但シ其ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

五　役　員　會

第十一條　役員會ハ會長之ヲ召集ス
第十二條　役員會ハ毎年二回二月及五月ニ之ヲ開ク
但シ其ノ必要ヲ生シタル時ハ臨時ニ之ヲ召集スルコトアルヘシ
第十三條　役員會ニ於テ議スヘキ事項左ノ如シ
一　豫算ノ編成
一　決算ノ承認

一　其他重要事項

第十四條　會長ハ特ニ必要ト認メタル時ハ役員外ノ會員ヲ會議ニ列席セシムルコトヲ得但シ票決ニ加ハラシメス

第十五條　役員會ハ役員ノ半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クコトヲ得第十六條　役員會ノ議決ハ出席役員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム可否同數ナル時ハ議長ノ決スル所ニヨル

第十七條　決議ノ事項ハ會長ノ認可ヲ經テ効力ヲ生スルモノトス

第十八條　本會規ノ改正ハ役員會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ經ルヲ要ス

六　全會員懇話會

第十九條　校風發揚ニ資スルタメ總務部主宰ノ下ニ全會員懇話會ヲ開クコトヲ得

七　會計

第二十條　本會ノ費用ハ會員ニ於テ負擔スルモノトス

第二十一條　職員會員ノ會費ハ毎年七月及八月ヲ除キ俸給月額ノ百分ノ一トシ毎月末日限リ會計主任ニ納入スルモノトス

第二十二條　生徒會員ノ會費ハ差ノ二種トス

一　入會金　五圓

二　一般會費　第一學年　年額　金拾五圓

第二學年　年額　金拾五圓

第三學年　年額　金拾　圓

第二十三條　生徒會員入會金總額ノ三分ノ一ハ之ヲ基本金トシテ蓄積シ三分ノ二ハ特別事業ニ充ツルモノトス

第二十四條　本會ニ於テ端艇建造費トシテ毎年金四百圓ヲ積立ツルモノトス

第二十五條　總テ各部ノ支出ハ豫算ノ範圍ヲ超過シテナスコトヲ得ス

若シ豫算ノ範圍ヲ超過シタル場合ハ各部ニ於テ其ノ責ニ任スヘキモノトス

第二十六條　剩餘金ハ會計年度末ニ於テ之ヲ基本金中ニ繰入ルルモノトス

第二十七條　本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第二十八條　各部豫算及決算ハ之ヲ本會雜誌ニ揭載スルモノトス

第二十九條　會長ハ會計主任庶務主任ニ對シ毎年末ニ於テ適宜ノ報酬ヲナスコトヲ得

第三十條　本會規中第二十一條及第二十二條ノ改正ヲナサントスル場合ハ特ニ役

員總數三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開クコトヲ得ス
出席役員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニアラサレハ改正ノ議決ヲナスコトヲ得ス
前項ニヨリ設定セラレタル會規ハ施行ノ日ヲ以テ全會員ニ其ノ効力ヲ生ス
第三十一條　生徒會員ノ會費ハ第二十一條ノ規定ニ拘ラス當分ノ間在校三ケ年分ヲ入學ノ學年中ニ於テ左ノ割合ニヨリ分納スルモノトス

四月　貳拾圓
九月　拾圓
一月　拾圓

第三十二條　會員ハ何人ニ對シモ本會ノ事業ニ關シテ寄附ヲ要ムルコトヲ得サルモノトス
第三十三條　本會ニ對シ金品寄附ヲ申出ツル者アルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス
寄附金ハ費途ヲ指定シタルモノヲ除キ其ノ費途ハ會長ノ定ムル所ニヨル

附　則

第三十四條　本會規ノ施行ニ付キ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ムルモノトス

細則ハ本會全般ニ關スル事項ニ就キテハ役員會之ヲ審議シ各部ニ關スル事項ニツキテハ各部役員之ヲ審議シ夫々會長ノ承認ヲ經ルモノトス
第三十五條　基本金ハ總額金壹萬圓ニ達スル迄之ヲ使用スルコトヲ得ス
前項ノ金額ニ達シタル時ハ役員會ノ決議ヲ經テ其ノ利子ヲ使用スルコトヲ得
第三十六條　生徒會員卒業ノ場合ハ金壹圓五拾錢ヲ寄附スルモノトス
前項ノ寄附金ハ之ヲ卒業寄附金ト稱シ遠征應援費等ニ充ツルモノトス

高知高等學校同窓會會則

第一條　本會ハ高知高等學校同窓會ト稱ス
第二條　本會ハ會員相互ノ向上親睦ヲ圖リ併セテ母校ノ發展ニ貢獻スルコトヲ以テ目的トス
第三條　本會ハ高知高等學校卒業生ヲ以テ正會員トシ母校職員及嘗テ職員タリシ者ヲ以テ特別會員トス
母校在學生ヲ以テ准會員トナス
母校ニ緣故アル者ハ役員會ノ決議ニヨリ正會員トナスコトヲ得

第四條　本會ハ本部ヲ母校内ニ支部ヲ各大學所在地ニ置キ會員多數在住スル地ニハ役員會ノ承認ヲ經テ支部ヲ置クコトヲ得

第五條　會長ニハ母校校長ヲ推シ副會長一名特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
會長ハ會務ヲ總理ス但シ會長事故アル時ハ副會長之ヲ代理ス

第六條　本部並ニ各支部ニ理事若干名ヲ置キ本部ノ理事ハ會員中ヨリ會長之ヲ指名シ各支部ノ理事ハ各支部ニ於テ之ヲ互選ス
本部並ニ各支部ニ各一名ノ理事長ヲ置ク本部ノ理事長ハ會長ノ指名トシ各支部ノ理事ハ其部ノ事務ヲ掌理シ理事長之ヲ統括ス

第七條　理事及理事長ノ任期ハ二ケ年トス但シ重任ヲ妨ケス

第八條　會則變更其他重要ナル案件ハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス
前項ノ決議ハ議案ヲ豫メ各會員ニ通知シ出席セル會員ノ過半數ニ依テ之ヲ決ス
會員ハ出席セル他ノ會員ニ其ノ議決ヲ委任スルコトヲ得此ノ場合ニハ委任狀ヲ提出スヘシ
會員ハ署名捺印セル文書ニ依リテ票決ヲ爲スコトヲ得

准會員ハ會長ノ承認ヲ得テ會議ニ列席シ意見ヲ述フルコトヲ得但シ票決ニ加ハルコトヲ得ス

第九條　會長副會長及理事長ヲ以テ役員會ヲ組織ス
常務ハ役員會ノ決議ニヨリテ之ヲ處理ス緊急ナル事務ハ重要ナル案件ト雖モ役員會ノ決議ニヨリ一時之ヲ處理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス
決議ハ役員ノ過半數ニヨリテ之ヲ決ス

第十條　役員會並ニ總會ハ會長之ヲ召集ス
役員會ノ決議ハ署名捺印セル文書ニヨリテ之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　理事長三名以上ノ贊成ヲ以テ役員會ノ召集ヲ又其ノ過半數ノ贊成ヲ以テ臨時總會ノ召集ヲ請求スルコトヲ得
正會員ハ五十名以上ノ贊成ヲ得テ役員會又ハ臨時總會ノ召集ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ請求アリタル時ハ會長ハ速ニ之ヲ召集スルコトヲ要ス

第十二條　正會員ハ入會ノ時終身會費トシテ八圓五十錢ヲ納入スルコトヲ要ス

但其ノ内壹圓五拾錢ハ支部費トシテ入會ノ際所屬支部ニ委譲スルモノトス

第十三條　毎年夏期母校ニ於テ定期總會及親睦會ヲ開催ス

第十四條　本會ハ毎年一回會報ヲ發行ス

第十五條　會員ハ其ノ異動ヲ遲滯ナク本部ニ通告スルコトヲ要ス

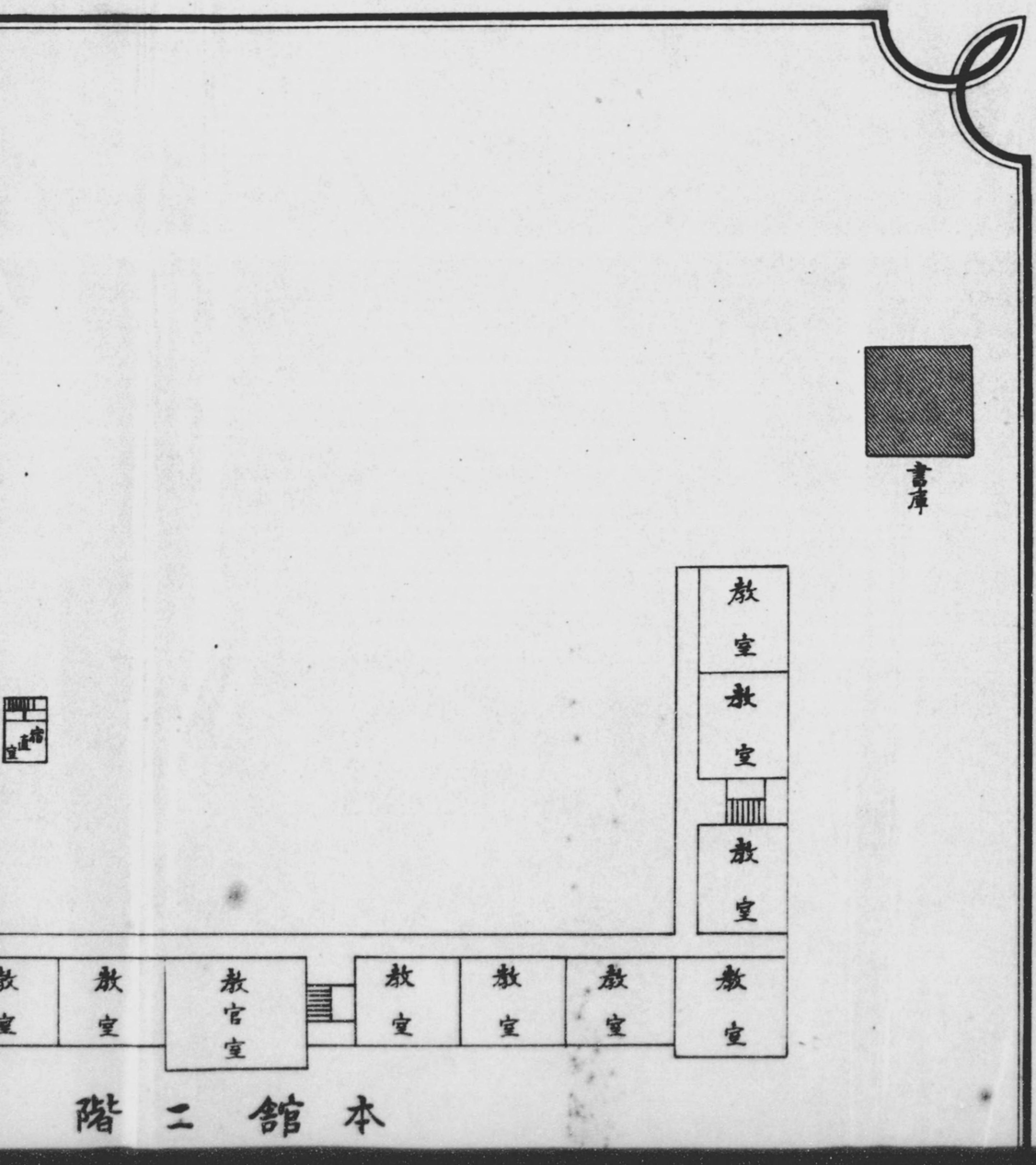
會員ノ異動アリタルトキハ本部ハ遲滯ナク關係支部ニ通告スルコトヲ要ス

第十六條　本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第十七條　會計其他ノ庶務ハ會長之ヲ母校事務員ニ囑託シ年度收支決算ハ會報ヲ以テ之ヲ報告スヘシ

附　則

第十二條ノ會費ハ第三回卒業生迄ハ昭和三年度四年度ニ於テ二圓宛五年度ニ於テ三圓ヲ分納スルモノトス


書庫
教室
教室
教室
教室
教室
教室
教室
教官室
教室
教室
教室
教室
本館二階

寮　五　第

寮　四　第

寮　三　第

寮　二　第

寮　一　第

寄宿舎二階

寮生

製圖室

宿直室

準備室

自在画教室

教室

教室

教室

教官室

教室

教室

教室

教室

本館二階